	いるものは青字、継続中のものは緑字、未対応		載する。							1						I						(北陸地島	≧~新	潟市)
再	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組 T	済被害の最小化」		北陸地整			北陸農政局			中越森林管理	8		新潟水源林整備等	務所		新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目 主な取組メ		対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
	に向けた治水対策の推進 (河川における対策) 等の迅速な復旧		•						•						•						•			
				令和元年東日本台風を受け、護岸崩 壊や堤防漏水等の12箇所で施設被 害が発生したことから災害復旧工事 を実施	【短期】 R元年度から実施														魚沼地区でR1年度に3回の災害が 発生し復旧工事を実。 十日町地区では被災した護岸の 復旧工事(信濃川11箇所)を実 施。	【短期】 R1年度から実施				
	堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧		-	12箇所全てで復旧を完了	完了	0													魚沼地区はR2年度に完了。 十日町地区は全11箇所の復旧が 完了。	完了	0			
■河川水位	の低下及び洪水流下断面を向上させるための即	[組		小千谷市において、下流の水位を低	【短期】																			
	遊水地等の洪水調節施設の整備	遊水地の整備	1	小干谷市において、下流の水位を低減させるための遊水地を2箇所整備する。 環路遊水地。真人遊水地ともに、現地での工事者手诱。		0						-												
		大河津分水路の改	:	中流域最大のボトルネックとなって いる大河津分水路河口部の狭窄部を 解消するための、山地部掘削や第二 床固改築等の事業を推進。	H27年度から実施	0																		
		修			引き続き実施																			
				戦後最大規模の洪水等を流下させる を動物木伐採・河水等を流下させる。 たがの間は、、紫側部では、 が短期的には、紫側部波部でする では、 が大伐採・河水部でする。 が大伐採・河水部でする。 が大伐採・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	l .																			
		河道掘削 樹木伐採	1	て、洪水時の水位を低減するための 河道掘削を実施する。 令和6年度は長岡市積下~西蔵王地	리송結송	0						-												
	洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進			区及び小千谷市東栄~木津地区河道 掘削を実施。引き続き整備を推進する。	実施																			
				戦後最大規模の洪水等を流下させる ための堤防整備を実施。 126年度から小千谷市塩殿地区、川 井地区 岩沢地区の3地区におい															家屋部の浸水を防止するため に、信濃川の8地区において築堤を 実施。 海土川において、大田川下流で	【中期】 H29年度だ ら実施	51			
		築堤		井地区、岩沢地区の3地区において、東防からの越水に伴う家屋部の 東水を防止するための堤防整備を実施。															実施。 浄土川において、太田川下流で 合流する信濃川の水位上昇による バックウオーター現象による浸水 被害を防ぐため、河道振削及び築 堤を実施。 全の脚区のうち、ユ2 地区 (野野	司会結合				
				・緊急治水対策プロジェクトとして 実施する3地区(塩酸・川井・岩沢 地区)の堤防整備を令和3年度末完 了。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,														全8地区のうち、4-2地区(段野 団地地区、灰雨地区)の変埋整備 を24.5月上売了。引き続き築堤工 事を実施。 浄土川はR2より河道掘削・築堤 工事を実施中。	実施				
■協設組織	を上回る洪水に対する取組					$oxed{oxed}$																		
= NE AXACTA	こ 上回 リボハにハ 7 も状態			R1年度から長岡市黒津町地区、浦地区、妙見町地区、南魚沼市水尾新田地区において危機管理型ハード対策	【短期】																			
	危機管理型ハード対策	堤防裏法尻の補 強・天端舗装	2	を実施。 長岡市黒津町地区、浦地区、妙見町 地区については72年度に整備完了 南魚沼市水尾新田地区についてはR3		0																		
■既存施設	を活用した洪水被害軽減対策			年度に整備元了。																				
			1	浸透等の作用に対する堤防の安全性 を確保するための堤防強化を実施。 RI年度から長岡市寺泊新長地区、燕 市新長地区、北て、堤防の漏水対 策を実施する。	【長期】																			
	堤防の強化(浸透対策等)	堤防の強化	1	大河津分水路右岸での堤防強化対策 を継続中。	引き続き 実施	0						-			-									
				R1年度から、信濃川水系に設置されているダムについて、利水ダム管理 者等との間において事前放流を実施するための体制構築を実施する。															破間川ダム、広神ダム、城川ダムは、利水事業者と事前放流について協議し、事前放流実施要領を 策定中。	完了予定				
		既存ダムの事前放 流を伴う治水協力		・三国川ダムは、利水事業者と事前 放流について協議し、事前放流実施 要領を策定済み		- 0													豪定中。 川西ダム、長福寺ダム、坪山ダム、松葉沢ダムについて、事前放 流来施要領を策定中。	R7年度に 完了予定	0			
				利水ダ点管理をは、 利水ダ点に関する名との間において、 系が設定に関する名との目において、 原本名名との日に で一流部と「5月9月に、既に同一に でも令令和3部節側に、「低同一けた政人の更り がのかり推進に、 (中流部)ダムの推進に、 にの連加・水系 (中流部)ダムル水 が、 は、 は、 が、 は、 は、 が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	協定に基 づき続き運 用														破間川ダムはR2年度に非出水期 の放流実施要領を策定完了。通年 の実施要領域は軽核協議中。 広神ダムは実施要領策定済。 城川ダムはR4.6月に実施要領策 定済。	引き続き実施				
	既存の排水機場、ダム、堰などの河川管理施 設について、更なる洪水被害軽減の可能性に 着いて検討を行うとともに、必要な対策を実 施		1	and Commo	l .														A. ort o					
		既存の堰等の洪水 時における操作改		大河津洗堰の運用規則変更による、 洪水時の緊急的な放流の実施検討																				
		定		令和2年度に運用規則の一部変更を 実施。	変更後の 運用に 受 で き 実 施 作 を 実 施																			
■河道・河	川管理施設等の適切な維持管理		I	提防や堰、水門等の定期的な占給を	【長期】														川西ダム、長福寺ダム・坪山ダ	【長期】				
				堤防や堰、水門等の定期的な点検を 実施し、必要な維持修繕を実施す る。	引き続き実施														川西ダム、長福寺ダム、坪山ダム、松東沢は一次は、大坂については水利使 田規則により年1回の地で登録さ を実施している。 堆積土砂の搬去については、地 砂量の増加状況を見ながら対応で	Lami.				
	堤防や堰、水門等の適切な維持管理		-	定期的な点検を実施し、点検の結果 に基づき必要な維持修繕を実施して いる。	引き続き 実施	0													野童の増加な流を見なから対応で きる事業及び事業の実施を検討す 五十嵐川下流部頭首工の耐震 化、護岸補強等を実施する。	【短期】 R4~R8に 実施 (?	F			
																				定)				

凡例: 完了しているものは青字、継続中のものは様字、末対応のものは赤字で記載する。

	「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」																						
	を日指す収組	M IN E 47 M 1 103		北陸地整			北陸農政局			中越森林管理	F		新潟水源林整備事	務所		新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目 主な取れ	■メ 主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期 対ジ	急治水 策プロ ェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
	河道内の堆積土砂の搬去、樹木の植生管理		_	河道艦削・樹木伐採を実施 支川から排出された地積土砂や、河 川管理上支障となっている樹木伐採 について実施中。	【長期】 引き続き 実施 引き続き													-	防災・減災、国土強靭化のため の5か年加速化対策で河床棚削、伐 予定 配子度に信濃川の堆積土砂を撤 表。 河積阻害になっている堆積土砂		0			
																			が、河積阻害になっている堆積土砂 や、河川管理上支障となっている 樹木伐採について実施中。					
	連携した浸水被害軽減対策の推進(流域における対 の流出抑制の取組	策)																						
		公園、校庭等の雨 水貯留施設の整備	_						_			_			_			_			10	学校グラウンドからの雨水流出を 即制するため、雨水貯留施設を整 情 仮ねの学校グラウンドには雨水貯 宿施設を整備完了	引き続き 適正管理 持廃	-
																			・地域の自発的な共同活動として 行う流出抑制の「田んぽダム」の 取組について、市町村等と連携し 普及啓発に取り組んでいる。	 往続	Ē	日んぽダムの利活用促進	実施	
		田んぽダムの推進	_			-	・県、市町村と連携し、田んぼダー・ ・県、市町村と連携し、田んぼダー・ なの普及啓発に取り組んでいる。 き	· 引き続 き実施	_									1	有効な協力の呼びかけ方法、周知 も含め実施を検討する市への支援 材	引き続き 食討	E	日んぽダムの取組み面積の拡大に 向けた普及啓発	引き続き実施	-
	雨水貯留施設、田んぼダム、透水性舗装の整 備等																							
		浸透性舗装、側 溝、ますの設置																						
		溝、ますの設置										-												
		各戸貯留施設の費 用補助	_																			各戸からの雨水流出を抑制するた ち、雨水浸透桝や雨水貯留施設の 設置費に対する助成制度 受置費に対する助成制度	引き続き実施	-
																							実施	
■支川	2濫抑制、内水被害を軽減する取組																							
		河道擺削	1															_						
	支川水路における氾濫抑制対策	雨水渠の流下能力 増強																						
																			(Bak) Valoret Product A	***		王山山 、		
		排水機場の整備、 増設	29																【農地設 湛水被南を防止するため、施設の機能向上するため、施設の機能向上や、地盤沈下により機能を可した。 大田 一般	並続		雨水ポンブ場施設を整備 排水機場の耐水化		_
		增設							_			_								进続	(0 (8 (2)	・信濃川へ挟水する雨水ポンプ場 の調査・設計及び関係者協議を進 りる。ポンプ場流入幹線の工事実 を中。 排水機場更新のタイミングに合 つせて耐水化を実施	引き続き整備を実施	_
	排水機場の整備	放流先の見直し	3																					
				R2年度から緊急排水ポンブ車・照明 車等の増設	【短期】																			
		排水ポンプ車等の 整備		長岡市左近地区に災害対策車両基地 を新規で整備。排水ポンプ車2台、 照明車2台を新たに配備		0																		

凡例:完了しているものは青年、組織中のものは様字、<mark>未対応のもの</mark>は命字で記載する。 (北陸地<u>整</u>~新潟市)

	いるものは青字、継続中のものは緑字、未対応																				(北陸地	登~新》	爲市)
「再	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」	1	北陸地整			北陸農政局			中越森林管理	8		新潟水源林整備事	務所		新潟地方気象台		新潟県	T		新潟市		т——
頁目 主な取組メ ニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	緊急治水 時期 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治 対策ブ ジェク
																		・ボンブ施設、ゲート施設を整備・管理する。 【最絶】排水機場の耐水化を図る ため、更新を含めた事業化が計画 されている排水機場について、関 係機関と調整、検討していく。	【中期】順次実施		排水機場の耐水化		
	排水機場の耐水化の推進	排水機場の耐水(2 39				今後更新される排水機場について は、耐水化等の対策を検討する。	引き続き 実施	_									【河川 末平県川峠水構造の半封 佐封菓 (R6年度完成予定) と合わ 生て割水化を図る。与5板排水機増 他な排水機増の宅朽化で耐水化を 高かて総封予定。は施設を整備(新 長排水機増)その他、排水機増 については引き続き調整、検討。	引き続き実施	0	雨水ボンブ場更新のタイミングに 合わせて耐水化を実施	引き続き実施	_
■大規模災	害時における迅速な復旧支援の取組			河川欧州マテーションの資格対え機	[E #81																水吐センターの軟件を行う	7 %G #B1	_
		河川防災ステー	8	河川防災ステーションや資機材を備 蓄する場合等の場合を構定を 現在、長岡地区における河川防災ス テーション整備を検討 令和3年度より長岡河川防災ステーションを		0															水防センターの整備を行う。 (新潟市江南区天野地区) 天野河川防災ステーション内におい	【短期】 R 1~R 4予定 R4年度完	_
	緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備	ション等の整備		令和3年度より長温速地区及び ション(長岡市信温地区及び左近地 区の整備と6月に関係を では令和6年6月に関係を を近前地区においては令和3年6月 を近前地区においた。 を近前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を前地区においた。 を可能区には、 を可能区には、 を を を を を を を を を を を を を を を を と を を を を を を を を を と を を を を と を を を を を と を を を を を と を を と を を と を と と を と と と と と を と と と と と と と と と を と と と を と																	て、水防センターの整備を完了。	7	
		大規模水害時に いて大型車両等が 通行可能なアクラ ス網の整備	S R	大規模水害時の復旧活動等を円滑に するため、堤防沿いや近傍において 大型車輪等の通行や往来が可能なア クセス経路を確保する	1	0																	
■土砂災害	に対する対策	温11 可能なアンドス網の整備		必要な区間や堤防拡幅が可能な区間 を選定し、順次整備を実施。																			
		+ 24 . 24 + 20 351		信濃川下流水系の魚野川、清津川及 び中津川流域において、砂防堰堤等 の整備を実施	【長期】													砂防関係施設の整備	順次実施				
	土砂・洪水氾濫への対策	土より ・被災する所に 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の	A CO	の整備を実施 魚野川、清津川及び中津川流域にお いて引き続き砂防堰堤等の整備を実 施。	引き続き				_			_						砂防関係施設整備中	引き続き実施				
		多数の変量や重き	E	信濃川下流水系の魚野川、清津川及 び中津川流域において、土砂災害防 止施設等の整備を実施	【長期】													砂防関係施設の整備	順次実施				
	流木や土砂の影響への対策	な施設の土砂なる 大本の 大本の 大本の 大本の 大本の 大本の 大本の 大本の	S S	魚野川、清津川及び中津川流域において引き続き砂防施設の整備を実施。	引き続き実施													砂防関係施設整備中	引き続き実施				
■森林整備	等における対策		Ī							森林整備・治山対策の実施	【長期】		流域内の水源林造成事業地におけ る森林整備	【長期】				治山対策、間伐等の森林整備の実施	【長期】				
	上流域における森林整備・保全等	治山対策、森林 備等	8							除・間伐等の森林整備による根 系等の発達促進 山腹崩壊地に基礎工及び緑化工 を施工し、土砂崩落及び浸食の拡 大を防止	引き続き実施			引き続き 実施				深間エ・山腹工等の施設整備、荒 廃森林の改植・保育、間代等の森 林整備を引き続き実施	引き続き実施				
		尼中什の維生。8								人を加止 保安林改良等による森林整備及 び治山施設等の対策を実施	【長期】							保安林の維持・管理及び保全	【長期】				
		保安林の維持・¶ 理及び保全	_							連沢町の国有林を新たに保安林指定し、水 源かん差、災害の防止等公益的機能の充実 を図った。 十日町市及び連南町の国有林を新たに保安 林指定し、水源かん差、災害の防止等公益 的機能の充実を図る。	引き続き実施							保安林としての機能の維持・ 増進及び治山対策の実施	引き続き実施				
	た更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策 の工夫に関する取り組み)																					
		都市計画マスター		水害に強いまちづくり方策検討のための水害リスクの情報提供を実施																	立地適正化計画策定済(H29.3月)		
	「まちづくり」による水害に強い地域への誘導	ノランや立地増1 化計画による水? に強い地域へ誘?	- design	多段階の浸水想定図及び水舎リスク マップを作成・公表し、関係機関へ 情報提供を実施中	引き続き 実施																・研災指針の追加や居住誘導区域の 見直しを含めた立地適正化計画の改 定の検討。	引き続き 整施	-
	克雪型住まい(高床式)費用の助成活用の充 実	都市計画マスタ- ブランや立地適」 化計画による水で に強い地域へ誘っ																					
	不動産関係団体への水害リスク情報と周知協力の推進	不動産関係者へ(水害リスカ情報/	0 -	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。		_												住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進 を図る。			新たな浸水想定区域に対応した洪 水ハザードマップへの改良と、出 前講座などを活用した周知・広報 を実施する。		
	力の推進	がロッヘン情報に 提供		L1、L2の浸水想定区域図に加えて令 和4年度から多段階の浸水想定図・ 水害リスクマップを炉にて公開。 必要に応じて、順次資料提供等の支援を実施	引き続き実施													市町村と情報共有を図りながら 支援する。	順次実施	0	新たな洪水ハザードマップを作成、公表。 表。 新潟市ホームページにて不動産関係 団体に対して不動産取引時の注意事 項を記載。		-

凡例: 完了しているものは青字、継続中のものは様字、<mark>未対応のものは赤字で記載する。</mark>

凡例:完了して	こいるものは青字、継続中のものは緑字、未対「	応のものは赤字で記	載する。																			(北陸地塱	整~新	爲市)
ſą	原度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会≬ を目指す取組	経済被害の最小化」		北陸地整			北陸農政局			中越森林管理	署		新潟水源林整備等	務所		新潟地方気象を	4		新潟県			新潟市		
項目 主な取組 ニュー		対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
■防災教育	育や防災知識の普及に関する取組			防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。	【長期】 R1年度か														防災教育や防災知識の普及に関 する取組として、水害の記憶の伝 承等より、地域防災力の向上を図	引き続き 実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図	引き続き 実施	
		パネル展、イベン ト、水害リスク情		り、地域防災力の同上を図る。	ら実施														承等より、地域防災力の向上を図 る。			6 .		
	水害の記憶の伝承	ト、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信	3	・水管関連動画を公開中 ・水管関連動画を公開中 用年記念事業 大の連分水通水100間年記念事業 大の主を通り、水変では は、治水対策の必要ができる。 では、水変では できる。	引き続き 実施	0													順次実施中	引き続き 実施	0	関係機関等との連携、職員による 出前講座などで水害の記憶の伝承	引き続き 実施	_
				防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、地域住民と協働でマ イ・防災でマップ、より、からなの 大・防災推進等により、地域防災 の向上を図る。	【長期】 R1年度から実施											関係機関の要請に応じて、指導計 面の気象関連部分の助言を行う。	適宜実施		マイ・タイムラインの普及を図る 市町村と連携し、技術的な支援を 行う。	R2年度か ら実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、マイ・タイムライン となるの推進等により、地域防災 力の向上を図る。	R2年度か ら実施	
	マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及 の推進	マイ・防災マッ ブ、マイ・タイム ライン普及の支援	i (D	無市と協働し実務者向けの講演を 実施(保2)の、 ・ 引き続き、逃げ遅れゼロ大作戦と して、流域自然体と協動でマイ・タ イムラインの作成や普及活動を実施 中。		0										関係機関と情報共有を図りなが ら、今後も適宜支援を実施。		_	中学校の総合学習における「マ イ・タイムライン」の作成を支援 する。	引き続き 実施		市独自のひな形を作成し、市日 中へ掲載文子ととものようととも、「日本 中へ掲載文子のようととものは、「日本 ・「日本 ・「日本 ・「日本 ・「日本 ・「日本 ・「日本 ・「日本 ・	引き続き 実施	_
				防災教育や防災知識の普及に関する学 ・中学・ ・・学・ ・・学・	【長期】 R1年度か											関係機関の要請に応じて、出前講 座等を実施する。	適宜実施		市町村の要請により出前講座を積 極的に行っていく。 ・施設等の見学会を通じて、住民	引き続き 実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、 会・学校等と連携し、地域で ・中学校等と連携し、地域で が、・中学校等を		
				技等を対象とした防災教育の推進等 により、地域防災力の向上を図る。	578														に対し施設の役割を理解してもらい、水防意識の向上を図る。【農 地】		l	育の推進寺により、地域防災刀の 向上を図る。		
	地域住民や小中学生等を対象にした防災教育 の推進	朝 出前講座による防 災教育の実施	i a	無域内の小学生等向けに、出前課度 を実施し、水舎リスクの周知等を 行った。 引き続き取り組みを推進する。	引き続き実施	0										関係機関と情報共有を図りながら、今後も 適宜支援を実施。		-	学校への出前講座を通じてリスク 情報の周知を図った。 引き続き実施してなる。 引き続き実施してなる。 は非機の見受金割を運転して、住民 に対して拡充の金割を理解して、 に対して拡充を設めの向上を図った。 引き続き取組を推進する。【農 地	引き続き 実施		・福海県防災教育フログラムに基づき全か 中学校の名学年で助決教育(北次)軍)を 実施。(1427-81) - 4校の特施、地域特性に応じて新潟県防 災教育フログラムの自校化を進めている。 147と2以降、15次数前(学校・地道携帯事業 48と2枚によける防災衛門プランの見画し 経験との形成で第三次 ・学校と家庭や地域が連携ルた実践的な防 災教育を実施。程子防災議座・	引き続き実施	-
				防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、学校における避難確保 計画の作成と避難訓練の推進等によ り、地域防災力の向上を図る。	【長期】 引き続き 実施											関係機関の要請に応じて、避難計画の気象関連部分の助言を行う。	適宜実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。	引き続き 実施		災数骨を実施(親子防災講座) 要配慮者利用施設につい 要て、説明会の実施やお知らせの送 付などにより避難確保計画の作成 促進を行う。		
	学校における避難確保計画の作成と避難訓練 の推進	避難確保計画の策定と避難訓練の実施	E (3)	今後、避難計画検討に資する情報の 提供などで、策定作業を支援してい く	引き続き実施	0			_						-	関係機関と情報共有を図りながら、今後も 適宜支援を実施。		-	市町村と情報共有を図りながら 支援する。	引き続き実施	i	・新潟市災害時情報システムに要配慮者利 用施設管理を追加(H30.4~) ・要配慮者利用施設へ避難確保計画へ避 難確保計画法での依頼を実施(H30.6~) ・未策定施設への再依頼(R2.1~) 訓練実施報告書の提出依頼(R3.11~)	引き続き実施	-
				防災教育や防災知識の普及に関する 助組として、地域住民と協働でまち なかに漫水リスクを表示する「まを ごとまちごとハザードマップ」推進	【長期】 H28年度か ら順次整														実施を計画する市町村と連携を 図り、整備を支援	H28年度か ら順次整 備				
	まるごとまちごとハザードマップの推進(没 水深表示)	まるごとまちごと ハザードマップの 支援		により、地域防災カ向上を図る。 ・H28年度は弥彦村と連携し、整備の支援を実施	・H28年度 から順次 実施	. 0												_	順次実施中	引き続き 実施	0			
				防災教育や防災知識の普及に関する	・引き続き実施 【長期】											関係機関の要請に応じて、気象関 連部分の助言を行う。	適宜実施		タイムラインを作成・更新する 市町村と連携を図り、作成等を支	R2年度か		関係機関と連携した防災行動計画 (タイムライン) の整備		
				取組をして、グタイプムラインの書類の組をして、グタイプムラインの書類の更新等により地域防災力向上を図る。	・H28年度 から順次 整備 ・引き続											運部分の明昌を行う。			市町村と連携を図り、作成寺を文 援	り表施		(ダイムライン)の整備		
	豪雨に対応したタイムラインの普及促進	新規・既存タイム ラインの作成及び 更新	0	・H28年度末にて下流域の未整備自 治体を含め整備済み ・整備済み自治体とのホットライン 連絡先、領済を自治体とのホットライン 連絡先、領済を言い ・検証や改善については、出水に応 じて適宜実施予定	から順次	0										関係機関と情報共有を図りながら、今後も 適宜支援を実施。		_	市町村と情報共有を図りながら 支援する。	引き続き 実施		関係機関と連携した防災行動計画 (タイムライン)の整備を実施運 用。洪水対応演習時にタイムライ ンを確認。	引き続き実施	_
■要配慮	香施設の避難に関する取組の推進			要配慮者利用施設の避難に関する取 報として、地域防災計画への位置付 けの推進等により、地域防災力向上 を図る。	引き続き														要配慮者利用施設の避難に関す る取組として、地域防災計画への 位置付けの推進等により、地域防 災力向上を図る。	順次実施	l	要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 力向上を図る。		
	地域防災計画への位置付けの推進	施設への指導、支援	190	・災害情報普及支援室の周知 ・協議会やその他個別調整の場にて 適宜フォローアップ中 ・信濃川に死難確保計画のサンプ ル及び解説集を独自に作成しHP公 開送34	・引き続 き実施	0													市町村と情報共有を図りながら 支援する。	順次実施	-	浸水想定区域や土砂災害警戒区域 に所在する要配慮者利用施設を地 域防災計画に定めている	引き続き実施	_
				国のログマン 要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の 推進等により、地域防災力の向上を 図る。	【長期】 引き続き 実施											関係機関の要請に応じて、避難計画の気象関連部分の助言を行う。	適宜実施		要配慮者利用施設の避難に関す る取組として、避難計画の作成と 訓練の推進等により、地域防災力 の向上を図る。	順次実施		要配慮者利用施利用施設につい て、説明会の実施やお知らせの送 付などにより避難確保計画の作成 促進を行う。		
	避難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支援	100	・災害情報普及支援室の周知 ・協議会やその他個別調整の場にて 適宜フォーアップ中 ・信濃川にて避難確保計画のサンブ ル及び解説集を独自に作成しHP公 関済み。		0										関係機関と情報共有を関りながら、今後も 適宜支援を実施。		_	【土木部】 【防災局】 ・講習会を通して、施設への指導 を実施している	引き続き 実施	-	・新潟市災害時情報システムに要配慮者利 用施設管理を追加((130.4〜) 毎配慮者利用施設へ避難確保計画へ避 難確保計画策定の依頼を実施((130.6〜) -未策定施設への再依頼(R2.1〜) ・訓練実施報告書の提出依頼(R3.11〜)	引き続き 実施	_
				要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につなが 高講習会の開催等により、地域防災 力の向上を図る。	【長期】 引き続き 実施														要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。	順次実施		要配慮者利用施利用施設について、必要に応じて説明会の実施を 行う。		
	避難確保計画の作成につながる講習会の開催	E 講習会の実施	10	・災害情報普及支援室の周知・協議会やその個別調整の場にて 適宜フォーアップ中 ・信濃川にて避難確保計画のサンブ ・開選が解説集を独自に作成しHP公開済み。	・引き続 き実施	0													【土木部】【防災局】 ・南魚沼市において、避難確保計 画の作成に係る講習会を実施 (R4.7.29) ・新潟市において、避難確保計画 の作成に係る講習会を実施	引き続き 実施	-	- 要配慮者利用施設の管理者向け説明会 を実施(H28.11) - 新潟県と合同で施設向けの講習会を実施 (R5.10、R6.12)	引き続き 実施	_
■災害のが	危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組																		必要に応じて水位周知河川の追加及び危険水位の設定見直しを検	順次実施				
	水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の 作成促進等による浸水リスク情報の周知	D 水位周知河川の設 定	9																計する。 R1年度に割野水位局(信濃川)の 危険水位見直しを実施。		-			

凡例: 完了しているものは青字、継続中のものは様字、末対応のものは赤字で記載する。 (北陸地整~新潟市)

	いるものは青字、継続中のものは緑字、未対応の		載する。																		(北陸地里	整~新	潟市)
「再	要災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経⊱ を目指す取組	済被害の最小化」	1	北陸地整			北陸農政局			中越森林管理	8		新潟水源林整備等	事務所		新潟地方気象台		新潟県		1	新潟市	ı	
項目 主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組			緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	緊急治 対策フ ジェク	*ロー 実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
				信濃川・魚野川において浸水想定区 域図を作成・更新する	短期													圏域内等 約340河川について、 想定最大規模における浸水想定区 域図の作成及び公表を行う。	短期				
		漫水想定区域図の 作成	8	・計画規模・想定最大規模の洪水に 対する浸水想定区域図を策定済み ・令和4年度は多段階の浸水想定図 及び水害リスクマップを公表	・必要に応じて更新・充実	1												- 対象の内、26 116河川おいて漫 水想定区域図を公表済み(2023 2025年1月時点)。	引き続き実施				
		ハザードマップ策																			新たな浸水想定区域に対応した洪 水ハザードマップへの改良と、出 前講座などを活用した周知・広報 を実施する。		
	水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の 作成促進等による浸水リスク情報の周知	定																			・新たな洪水ハザードマップを作成し全 戸配布。 ・新潟市が作成する広報誌、チラン等 に新潟市総合ハザードマップのQRコー ドを掲載するなど日頃から住民への周 知を図っている。	<i>3</i> +	_
				住民への氾濫リスクを周知するため の支援の検討	【長期】 H28年度から実施													住民への氾濫リスクを周知する ための支援の検討。	H30年度から実施	Λ.	新たな浸水想定区域に対応した洪 水ハザードマップへの改良と、出 前講座などを活用した周知・広報 を実施する。		
	1	住民への周知	8	・浸水想定区域図等のデータは提供 ・令和4年度は多段階の浸水想定 図・水害リスクマップを公表 ・今後、避難計画検討に資する情報	実施	0												学校への出前講座を通じてリス ク情報の周知を図った。 引き続き実施していく。	引き続き実施	0	・新たな洪水ハザードマップを作成し全 戸配布。 ・新潟市が作成する広報誌、チラン等 に新潟市総合ハザードマップのQRコー ドを観まするなど日頃から住民への周 知を図っている。		-
				・今後、避難計画検討に資する情報 の提供などで、市町村の策定作業を 支援していく 信濃川・魚野川において浸水想定区 域図を作成・更新する		Н												圏域内等 約340河川について、 想定最大規模における浸水想定区 域図の作成及び公表を行う。	短期		ドを掲載するなど日頃から住民への周 知を図っている。		
		浸水想定区域図の 作成		計画規模・想定器大規模の洗水に対	・必要に													・対象の内、26 116河川おいて漫					
				する漫水想定区域図を策定済み 令和5年度は温泡、南塩沼、十日町 地区を含め内外水(本支川)一体と なった浸水想定の検討を完了	新・充実													2025年1月時点)。			新たな浸水想定区域に対応した洪 水ハザードマップへの改良と、出 前護摩などを活用した周知・広報 を実施する。		
		ハザードマップ策 定	8									_									前講座などを活用した周知・広報 を実施する。 新たな洪水ハザードマップを作成し全 戸配布。	H30実施済	-
	支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知			住民への分配コフク大関処するもめ	[# # # 1]													仕足への の歌川フク太陽如する	順沙宝族			4	
				住民への氾濫リスクを周知するため の支援の検討	H28年度から実施													住民への氾濫リスクを周知する ための支援の検討	順久天記		新たな浸水想定区域に対応した洪 水がデードマンへの改良と 大水がデードでを活用した周知・広報 を実施する。		
	1	住民への周知	8	・浸水想定区域図等のデータは提供 ・今後、避難計画検討に資する情報 の提供などで、市町村の策定作業を 支援していく		0												市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施	0	新たな洪水ハザードマップを作成し全 戸配布。	H30実施済 み	-
				支援していく														土砂災害警戒区域等の周知・更 新	順次実施				
	:	土砂災害警戒区域 等の周知・更新	_																				
																		土砂災害警戒区域等の周知・更新実施中	引き続き実施				
	土砂災害に関する避難情報の周知 -																	土砂災害警戒情報に関するシス テムの整備	順次実施				
		土砂災害警戒情報 に関するシステム の整備	_															土砂災害警戒情報に関するシステム の更新作業中	ム引き続き				
																		【南魚沼地区】 農業用ため池の避難対策としての ハザードマップ作成を支援する。 【魚沼地区】 農業用ため池の氾濫の避難対策と してのハザードマップ作成を支援 する。	R3から実 施				
	農業用ため池の氾濫に着目したハザードマッ プ等を作成し、リスク情報を周知	ハザードマップ策 定				_												間風沼地区』 管内の防災重点ため池9箇所の策定 済み。	完了				
																		【魚沼地区】 管内の防災重点農業用ため池42箇 所の内、20箇所で作成済み 【十日町地区】 管内の防災重点ため池に係るハ ザードマップの作成を支援する。	R12までに 実施 完了				
				・現状予測時間(~3時間) ・更に数時間(4~6時間程度)先も 含め水位予測精度の向上の検討・シ ステム改長																			
	早期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位 予測体制の検討	予測システムの精 度向上		・H28~29年度でシステム改良を完 了。R2年度、H30以降の出水における精度検証を行う予定。 ・H30年7月に運用を開始した共有ブラットフォームにおいても情報提供 を実施。	・引き税き実施	0																	
				フットノオームにおいても情報提供 ・管内自治体と洪水時におい情報 ・・管内自治体と洪水時におい情報 ・・・ ・・R3年度はり水音をイムラインにより洪水予警報を発令																			

A例:完了しているものは青字、継続中のものは終字、未対応のものは赤字で記載する。 (北陸地整~新潟市)

「再度	変災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会≉ を目指す取組 Γ	経済被害の最小化」		北陸地整			北陸農政局		_	中越森林管理	E	1	新潟水源林整備	事務所		新潟地方気象台	ì		新潟県			新潟市	1
Eな取組メ ニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	野魚 野瀬 ジュ
				災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組として、早期避難に 向けた精度の高い水位予測の検討の 実施。ケーブル・SNS等を活 用した情報発信の強化を図る。	【長期】 R3年度か ら実施														災害の危険度が伝わるきめ細や かな情報発信の取組として、早期 避難に向けた精度の高い水位予測 の検討の実施。ケーブルテレビ、 SNS等を活用した情報発信の強化を	順次実施			
	ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信 の強化	災害情報等の発信	-	「地域防災コラボチャンネル」について実施に向け手続中	・引き続 き実施	0						_							図る。 市町村と情報共有を図りながら 支援する。	順次実施	- 0		
				災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組として、報道関係機 関と連携した情報発信の強化を図	【長期】 H30年度か ら実施														災害の危険度が伝わるきめ細や かな情報発信の取組として、報道 関と連携した情報発信の強 化を図る。	順次実施		災害の危険度が伝わるきめ細やか な情報発信の取組として、報道関 係機関と連携した情報発信の強化 を図る。	
	マスメディアとの連携強化	報道機関等への情報提供及び連携	_	新潟県メディア連携協議会と連携 し、情報発信の強化を図っている。	・引き続き実施	0													市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施	0	R1、R2に新聞やテレビ関係などの報引 道機関と災害時の情報発信のあり方な どについて情報交換を実施。	引き続き実施
				・水位計やライブカメラの情報をリ アルタイムで提供 (信濃川水系として信濃川下流と一 元化し、共有・関策できるシステム (共有プラットフォーム化)の整	【長期】 引き続き 実施														雨が止んだ後に上流からの洪水 が到達した状況を踏まえ、災害の 危険度が伝わるもの細やかな情報 発傷の取組として、洪水が遅れて	順次実施		市民向け情報発信の発信を強化す るため、情報伝達手段の更なる多 重化に取り組む。	
	住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやす いきめ細やかな情 報伝達	(5)	・信濃川河川事務所即等で提供中 ・平成30年7月より運用を開始した 共有プラットフォームにおいても情	・H28年度	0													到達する水系の情報発信の強化を 図る。 市町村と情報共有を図りながら 支援する。	順次実施	0	既存の情報伝達手段である市HPをは 引 じめとして、にいがた防災メール、X、防 災行政無線、ヤフ一防災、FMランオに 加え、LINEによる情報配信を進める。	引き続き 実施
				・水位計やライブカメラの情報をリ アルタイムで提供 (信濃川水系として信濃川下流と一 にし、共有・関節できるシスを (共有ブラットフォーム化)の整	引き続き														浸水により人家等への影響があ る地区への避難情報発令を支援す るため、水位計やカメラを設置す る。	H30年度から実施			
	水位計、空間監視カメラ等の整備によるリア ルタイム情報の発信	水位計、監視カメ ラ等の設置	(5)	(備・活用) - 信濃川河川事務所即等で提供中 - 平成30年7月より運用を開始した 共有ブラットフォームにおいても情		0													令和元年度東日本台風出水により家屋浸水が生じた地区に危機管理型水位計を設置した。	R元年度	0		\dashv
				災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組をして、浸水想定区 域における、定案、危険物管理施設 への浸水リスクへの情報提供	【長期】 引き続き 実施														災害の危険度が伝わるきめ細や かな情報発信の取組として、浸水 お定区域における、企業、危険物 管理施設への浸水リスクへの情報 提供。	順次実施		新たな浸水想定区域に対応した洪 水ハザードマップへの改良と、出 前講座などを活用した周知・広報 を実施する。	
	浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理 施設へのリスク情 報の共有	-	・浸水想定区域図等をIPFにて公開済 み合和4年度は多段間の浸水想定 図・水布)スクラッフとの野を込ま の水布)スクラッフとしてBDP策定 立てませた。 ・選手におし、浸水リスク情報の提 の変に応じ、浸水リスク情報の提		0						-							^{技快。} 市町村と情報共有を図りながら 支援する。	順次実施	0	新たな洪水ハザードマップを作成、公 H3 表。	130実施済 74
	ンフラに関連する取組 インフラに関連する取組			F C TAIL																			
		レキ河原再生、水		多様な水際環境を形成するために、 郷削形状の検討を行い、湿地・砂礫 河原類をはじめとする多様な生生の ・ 気気をはじめる多様な生し、 息・空場をは ・ 気を現場など、 ・ 気を関係など、 ・ 気を ・ 気を ・ 気を ・ 気を ・ 気を ・ 気を ・ 気を ・ 気を															・信濃川上流域の緊急治水対策プロジェクトにおいて、河川改修工事後の河床形状を工夫し、魚頭の生息生育環境に配慮した瀬と淵の復元を図る。	【短期】 【中期】 【長期】			
	自然環境の保全・復元などの自然再生	レキ河原再生、水 際環境の創出、潮 瀬の復元	_	りや選地等の多様な河川環境を創出します。 河川環境調査の実施等により生物生息環境制出の可能性を模索し、必要に応じて自然再生のための整備を実施	引き続き実施														施。	引き続き実施			
	治水対策における多自然川づくり	・湿地環境の創出 ・魚道整備による 生息環境の連続性 確保 ・多様な生物の生	-	・河道掘削等の実施において多様を 生物の生息環境へ配慮した整備を実 施する。 ・大河津分水各第二 に固改築 工事に おいて最近を整備 等 緊急治水対策プロジェクトや大河津	【中期】 【長期】														各圏域河川で実施する河道掘削 等について多様な生物の生息環境 への配慮した整備を実施。 緊急治水対策プロジェクトの実	【短期】 【中期】 【長期】			
		息環境への配慮 ・河川景観の保全		分水路改修事業の実施において、対応を図っていく。 ・・小中学校などにおける河川環境学	【短期】					森林・林業教育の実施	【中期】								施において、対応を図っていく。	【中期】			
				・河川協力団体による美化活動	【中期】 【長期】						LEM1									I R m I			
	自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する 多様な機能活用の 取り組み	-																				
				・地域の小中学校への河川環境学習 を定期的に支援 ・河川協力団体による美化活動を定 期的・継続的に実施、支援	引き続き実施					小字校の総合策立の時間に、 学校内を探索で自然の様子も 資林の働きである。 変化を体験でする。 変化を影らませ、 原体を影らませ、 原体を影らませ、 原体を影らませ、 原体を影らませ、 の理解を深めた。	引き続き実施												
				地域のニーズを踏まえた賑わいのあ る水辺空間創出への連携・支援。	【短期】 【中期】 【長期】																		
	魅力ある水辺空間・賑わいの創出	水辺の賑わい空間 創出	_	長岡地区河川防災ステーションで は、長岡市により、平時の一般利用 者による利活用開始	引き続き実施	_																	
		大型水鳥のねぐら		大型鳥類の保全・活用に資する河川 環境関連事業の連携関係を築き、豊 かな自然環境を活用した魅力的な 力ある地域づくりの形成を推進	【短期】 【中期】 【長期】																		
	生態系ネットワークの形成	や採餌場となる浅場や湿地環境の保全・創出	-	生態系ネットワークの形成のため 国・県・市町村、学識者、環境団体 等が参画する協議会を設置し議論	引き続き実施																		

凡例:完了しているものは青年、継続中のものは様字、未対応のものは寿字で記載する。 (北陸地整~新潟市)

	いるものは育子、極続中のものは終子、木刈り																						(北陸地	金~初7	海中/
「再	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会組 を目指す取組	経済被害の最小化」		北陸地整			北陸農政局				中越森林管理	종			新潟水源林整備事	務所		新潟地方気象台		新潟県			新潟市		
項目 主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト		実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト		実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容 時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
	ではにかは7 ***** 人人しょ 白藤玉生物	・雨水貯留機能と 両立した森林復								IB)		【中期】 【長期】		森林雪旧)	を備(除間伐の実施・森林復	【中期】				森林整備(除間伐の実施・森林復 旧)	【長期】				
	流域における対策と合わせた自然再生等	旧・再生	_							森林整備	(除間伎の実施)	引き続き実施		実施中	Þ										
	流域における対策と合わせた自然再生等	・水田の雨水戸上の雨水戸上の雨水戸上の雨水戸上の田の保・良野様の を合め風・生育環境の形成・																		水田 (田んぼダム) は雨水貯留機 能とともに、良好な田園美観や生 物の多様な生息・生育環境に寄与 する。	【中期】【長期】				
	流域における対策と合わせた自然再生等	・砂防整備と合わせて憩いの場の創出・魚道整備等		信濃川下流水系の魚野川において、 砂防設備に軽く合うせた説いの場 の割出・魚道等の整備を実施 魚野川において、引き続き頭いの場 の創出・魚道等の整備を実施。																					

堤防や堰、水門等の適切な維持管理

(参考資料) 凡例:完了しているものは青字、継続中のものは緑字、<mark>未対応のものは赤字</mark>で記載する。 (長岡市~魚沼市) 「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」 を目指す取組 小千谷市 見附市 十日町市 燕市 対策メニュー 減災目標 達成のた めの取組 緊急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策ブロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 主な取組項目 実施内容 実施内容 実施内容 実施内容 1. 被害の軽減に向けた治水対策の推進(河川における対策) ■被災施設等の迅速な復旧 堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧 ■河川水位の低下及び洪水流下断面を向上させるための取組 遊水地等の洪水調節施設の整備 遊水地の整備 大河津分水路の改 修 河道掘削 樹木伐採 洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進 築堤 ■施設規模を上回る洪水に対する取組 堤防裏法尻の補 強・天端舗装 危機管理型ハード対策 2 ■既存施設を活用した洪水被害軽減対策 堤防の強化 (浸透対策等) 堤防の強化 既存ダムの事前放 流を伴う治水協力 既存の排水機場、ダム、堰などの河川管理施 設について、更なる洪水被害軽減の可能性に 着いて検討を行うとともに、必要な対策を実 既存の堰等の洪水 時における操作改 ■河道・河川管理施設等の適切な維持管理

尺例: 完了しているものは青字、継続中のものは様字、末対応のものは赤字で記載する。 (長岡市~魚沼市)

	ているものは青字、継続中のものは緑字、未対応(戦する。													1						(長岡市	市~魚:	沼市)
T A	写度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経》 を目指す取組	新被害の最小化」		長岡市			三条市		_	小千谷市			見附市			十日町市			燕市	1		魚沼市		
項目 主な取組メ	メ 主な取組項目	対策メニュー	減災目標 達成のた めの取組	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
	河道内の堆積土砂の撤去、樹木の植生管理		-																					-
2 地域が連携	馬した浸水被害軽減対策の推進(流域における対 9	容)																						
	煮出抑制の取組	K)		貯留管及び貯留施設、雨水調整池 を整備・管理	順次整備		・雨水貯留施設等の整備を実施	【長期】	I															
		公園、校庭等の雨 水貯留施設の整備						【長期】 引き続き 実施																
	3	水貯留施設の整備	_	・ 琴平公園貯留施設を整備 (R1 年度) ・学校町両水舗整池計画策定 (R	R 1 年度 実施済み 引き続き	0	・雨水貯留施設等の整備を実施	【長期】 引き続き 実施																
	-			6年度) 田んぽダムに取組む活動組織に対 し、多面的機能支払交付金による 支援を行う。	実施 【長期】		・田んぽダムの活用 (市内1,744.3 ヘクタールで実施)	【長期】		農地の多面的機能として位置づけ	【長期】		・田んぽダムの活用	【長期】 継続実施								田んぽダムの利活用促進	【中期】 R4~	
				支援を行う。	実施		77 76 (2,16)	A		農地の多面的機能として位置づけ られている田園に一時的に貯留す る機能を活用するための、現在整備 済の田園ダムの適正管理を実施すると ともに、新規整備箇所を検討する。				46.00										
	1	田んぽダムの推進	_			0			_			0												0
				R4年度から交付金による支援を 実施(R6年度実績) 中之島地域 約315ha 寺泊地域 約777ha	【長期】 引き続き 実施		・田んぽダムの活用 (市内1,744.3 ヘクタールで実施)	実施中		現在整備済みの田園ダムの適正管 理を引き続き実施	引き続き実施		農地の多面的機能として位置づけ られている田圃に一時的に貯留す る機能を活用するための、現在整 備済の田圃ダムの適正管理を実施	継続実施								データ分析等検討を開始。引き続 き検討。	引き続き 検討	
				寺汩地域 約 <u>7.7</u> ha									備済の田圃ダムの適正管理を実施 する											
	雨水貯留施設、田んぼダム、透水性舗装の整 備等																							
	湯寺			開発行為に該当する事業については、開発区域における持水基準により、数地内の雨水流出量を算定とし、周辺排水路軽や両増、グラウンド、自由の配偶等等の貯留施設の計画を行っている。	引き続き 実施																	開発区域における排水基準により、敷地内の雨水流出量を定定した。 り、敷地内の雨水流出量を定定した。 周辺排水路や両川への能力を 勘案した上で、駐車場、グラ設定 ド、百年に、	実施済	
				し、周辺排水路や河川への能力を 勘案した上で、駐車場、グラウン ド、自由勾配側溝等の貯留施設の																		勘案した上で、駐車場、グラウン ド、自由勾配側溝等の貯留施設の 計画を行っている。 近年の実績:市立湯之谷小学校		
		浸透性舗装、側 溝、ますの設置				0																近年の実績:市立湯之谷小学校 (H29年) 実施済	実施済	0
				近年の実績:越路白山保育園(H 23年)、高等総合支援学校屋内 運動場(H29年)、ながおか花	実施																	关肥 谓	失肥済 (他施設 等でも検	
				火館(R2年)																			81)	
				個人・企業へ雨水貯留槽及び雨水 浸透ますの設置費を助成	引き続き 実施																			
		な言贮の体作の書																						
	j	各戸貯留施設の費 用補助	_	・雨水貯留槽の設置費助成を実施 中 ・雨水浸透ますの設置費助成につ いて検討する	引き続き 実施	0																		
				いて検討する																				
■支川氾濫	監抑制、内水被害を軽減する取組																							
	3	可道掘削	1																					-
	支川水路における氾濫抑制対策															102年の新潟・福倉高田で選択神雷	7 to #81							
		雨水渠の流下能力 営強														H23年の新潟・福島豪雨で浸水被害 があった地区について、雨水渠の 流下能力増強を図る。	H27年度から実施。 R5年度学							
									-			-				H27年度より、南水渠の流下能力増強のためのバイバス管及び既存施	T	0						
																扱のためのハイハス官及び既存施 設の改築を実施中。R5年度に完 了。	夫肥							
				ポンプ施設、ゲート施設を整備・ 管理	引き続き 実施																	ポンプ施設、ゲート施設を整備・ 管理している。	【短期】 継続中	
		排水機場の整備、 曾設	29			0																		0
		- BEX		寿町排水ボンブ場を整備(1か 所・6年度) 千秋が原ボンブ場域設整備計画の <u>策定(R6年度)</u>	R6年度 実施済み							-										四日町排水ポンプ場を整備中。	R7年度完 成予定	1
				<u>千秋が原ボンブ場増設整備計画の</u> 策定(R6年度)	引き続き実施																			
	-																							
	排水機場の整備																							
	l l	放流先の見直し	29																					
				浸水常襲箇所における可搬式ポン ブ、発電設備の新規導入	引き続き 実施																			
	44 00 1	排水ポンプ車等の 整備	3	・可勝式ポンプ <u>31</u> 台、発電機 <u>7</u> 台を導入(R <u>6</u> 年度まで) ・今後も可搬式ポンプの導入を検	引き続き 実施	0																		
				・ ラ 使も 可服式 ホンブの 導人 を検討																				

「度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経》 を目指す取組	F被害の最小化」		長岡市																		(長岡市		$\overline{}$
			3X (m) (1)			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		ļ
まな取組項目		滅災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
排水機場の耐水化の推進 非	非水機場の耐水化	3	・下水道施設を対象とした耐水化 計画太伽伽(ロッケ僧)	引き続き 実施 R3年済み																			
			・耐水化事業を順次実施(R 4 年度~)	引き続き実施																			
災害時における迅速な復旧支援の取組																							
9.7	可川防災ステー レョン等の整備	26	・信選川長岡地区河川防災ステーション整備計画登録(R2年度) ・順次数機大実施 (D3年度から		0																		
緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備	大規模水害時にお 大型車両等が なて可能なアクセ		順次者工 <u>L、配合生産</u> 佐市管理の 信濃水防倉 信濃水防止 庫の整備 はR6年度 が完了 手																				
	(網の整備																						
土砂・洪水氾濫への対策	上砂・洪水氾濫に にりが被高いない を はが高のに を があるの。 で がある がある で を で を で を で を を を を を を を を を を を を										_			_						_			
※本や+砂の影響への対策	は施設の土砂・流 にの流出による被 ■を防止するため																						
#等における対策																							
上流域における森林整備・保全等	哈山対策、森林整 #等																						
	R安林の維持・管 関及び保全	-																					
<mark>けた更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策)</mark> けの工夫に関する取り組み																							
	B市計画マスター								き、災害に強い町づくりを推進									き、災害に強いまちづくりを推進。	計画策定 時から推 進		進。		
#	と計画による水型書 一般い地域へ誘導	_	特別の の の の の の の の の の の の の の	Y 策では ・ 定引を ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で								THE OLD BE	推進	_				可で統合強権	推進	0	ec⊙. T	実施	0
克雪型住まい(高床式)費用の助成活用の充 実	B市計画マスター プランや立地適正 と計画による水害 C強い地域へ誘導	_							広報誌やホームページによるPRを実施	引き続き実施	0												
不動産関係団体への水害リスク情報と周知協力の推進	下動産関係者への k害リスク情報の 提供	-	图 6 。						图 6。			図 る。			图 6 。			ବ .			图 6。		- 0
E F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	#	接水機場の耐水化の推進 排水機場の耐水化の推進 排水機場の耐水化の推進 排水機場の耐水化の推進 排水機場の耐水化の推進 不可能	接水機等の耐水化の推進 接水機等の耐水化 ② 一	おおり では、	まか、機構の耐水化の推進 まか、機構の耐水化 まか、機構の耐水化 まか、機構の耐水化 まが、機構の耐水化 まが、機構の耐水化 まが、機構の耐水化 まが、機構の耐水化 まが、機構の耐水化 まが、体験を関係を対象とした耐水化・対象を発展を対象とした耐水化・対象を発展を対象とした耐水化・対象を発展を対象とした耐水化・対象を発展を対象とした耐水化・対象を発展を対象とした耐水化・対象を発展を対象とした対象を表現となる。 またが、大力の活動制点施及の要素を検討、たい。実施・エル・ための実施を対象とした対象を対象を対象としたが、対象の要素を検討、たい。実施・エル・ための実施を対象としたが、対象の要素を検討、たい。実施・エル・ための表面を対象としたが、対象の要素を検討したが、対象の要素を検討したが、対象の要素を検討したが、対象の要素を検討したが、対象の要素を対象に対する対象を対象に対象が対象を対象に対象を対象に対象が対象を対象に対象が対象を対象に対象が対象を対象に対象が対象を対象に対象が対象を対象に対象が対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	# 大田県中の耐水化の推進	# 20	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	# 2 日本	### 2	### ### ### ### ### ### #### #### ###	### 100 100	#A 報告の記念との含み #A 報告の記念と	####################################	### 2000 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	### ### ### ### ######################	######################################	######################################	### 1940 A CO STATE OF THE PROPERTY OF THE PRO	### PARTICLE AND P	**************************************	### PARTICLES 1985	### PARTICLE CONTROL OF THE PA

凡例: 完了しているものは青字、組跡中のものは様字、未対応のものは赤字で記載する。 (長岡市〜魚沼市)

凡例:完了して	いるものは青字、継続中のものは緑字、未対応	のものは赤字で翫	載する。																			(長岡)	市~魚	沼市)
「再	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」		長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目 主な取組メ ニュー	生な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト
■防災教育	fや防災知識の普及に関する取組 			防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図 る。	引き続き実施		・防災教育や防災フェスタの開催 などを通じて地域防災力の向上を 図る。	【長期】 引き続き 実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図 る。	【長期】					防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図	R1年10月		防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、水害の記憶の伝承等よ り、地域防災力の向上を図る。	【長期】 引き続き 実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図 る。	実施済み	
	水審の記憶の伝承	パネル展、イベン ト、水害リスク 報の周知やSNS等 を活用した発信	, i (3)	・市内小中学校に防災教育コンテンツ(教材)「防災五手将の 設置し、不審体験の伝承等の師を 教育を実施。必要に応じて講師を 法に、活用支援を実施。(H2 8年度と)	引き続き実施	0	・市内小中学校において防災教育 を実施 ・防災フェスタの開催	【長期】 引き続き 実施		関係機関及び関係団体の協力により引き続き実施	引き続き実施	0				・RI年10月 国土地理院「自然災害伝系碑」に登録し、過去の水害の歴史を伝承する。	継続	0	防災教育や防災出前講座等において、過去の全国の水害について紹介し、水害の危険性等を啓発。	引き続き 実施	0	地域防災力向上シンポジウムを開 催。	令和元年度	0
				防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民や小・中 学校等へマイ・タイムライン普及 の推進等により、地域防災力の向 上を図る。	引き続き実施		・三条市豪雨災害対応ガイドブッ クを活用し、住民の水害や避難に 対する意識を高めていく。	【長期】 引き続き 実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民と協働で マイ・防災マップ、マイ・タイム ライン普及の推進等により、地域 防災力の向上を図る。	【長期】		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【長期】 R2年度から実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	R2年7月		防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、地域住民と協働でマ イ・防災でマップ・より、地域防災力 の向上を図る。	【短期】 R02年度から実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民と協働で マイ・防災マップ、マイ・タイム ライン普及の推進等により、地域 防災力の向上を図る。	【中期】維続中	
	マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及 の推進	マイ・防災マッ ブ、マイ・タイ <i>』</i> ライン普及の支援	TD	・美国版マイ・タイムライン「わか家の市災タイムン」(内学 生版、中学生へ入人版)作成し、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	引き続き実施		・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく。	【長期】 引き続き 実施	_	関係機関の協力により出前講座等 を実施	引き続き実施	0	「豪雨災害対応ガイドブック」に マイタイムラインを掲載した。 ・様式を全世帯に散布。 ・対象者を載り、習発を行う。	引き続き実施	_	・配年7月「十日町市版マイタイム ライン」を策定し、全戸配布する とともに市中に公開し、普及を図 る。	継続	0	・「マイ・タイムライン」や、水害 ・「マイ・タイムライン」や、水害 ・「防災チェックンート」の作成。 ・「防災チェックンート」の作成。 ・「戸記作・福助及びホームページへ特集 ・「シストリーターを ・「シストリーターを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを ・「アストリーを	引き続き実施		必要に応じて出前講座等にてマイ タイムラインの普及啓発を行って いる。 地区助災マップ等の作成支援を 行っている。	引き続き実施	0
				害版)」(小学生版、中学生~大 防災教育や防災知識の普及に関す	引き続き実施		・全小中学校・全学年で防災教育授業を実施	【長期】 H25年度か ら実施		防災教育や防災 知識の普及 に関する取組として、 発見して、 表別の 地域の 教育をして、 表別の 地域 たい 要な 保護 は いい 地域 に いい は い	【長期】		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校等と連携し、 地域性民や小・学学等を対象 した防災教育の推進等とし 域防災力の向上を図る。	【長期】 引き続き 実施		防災教育や防災知識の普及に関す	R2年11月 実施予定		防災教育して、 ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の	【中期】 H30年度から実施	1	防災教育や防災知識の普及に関す る取組とで、各様し、地域の を登りませ、 を を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	【短期】維続中	
	地域住民や小中学生等を対象にした防災教育 の推進	出前講座による ^取 災教育の実施	j (9)	向上を図る。 ・地域の特色や学校のニーズに応 にた、防災教育の授業を明 を施 ・地域の特色のでは を施 ・小中学校における。 ・小中学校における。 ・地域における出前調産や、防災 が、地域における出前調産や、防災 ・地域における場合。 ・地域における。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	引き続き実施	0	·全小中学校·全学年で防災教育授業を実施	【長期】 引き続き 毎年実施		向上を図る。 管内小・中学校において防災教育を実施	引き続き実施	0	・小中学校を対象に過去の水害の状況、対 策等についての防災教育を実施している。	引き続き実施	_	向上を図る。 ・市内小中学校からの要望等もあり、「防灾教育」をテーマに社会 科学習を実施予定。	継続	0	・教育委員会との連携による、「防 災キャラパン」と称した防災教育 を、市内9小中学校で実施。(昨年 度1小中学校・連携した防災訓練や ・地域と学校が連携した防災訓練や 防災活動の支援を実施。	引き続き 実施	-	向上を図る。 市内小中学校からの要望により、 防災教育を実施し児童生徒の防災 意識を高めるべく支援を実施。	引き続き実施	0
				災活動を支援・要配慮者利用施設における避難 計画の策定と訓練の実施を促進 し、避難の実効性の確保を図る。	引き続き実施		・要配慮者利用施設に対し必要な 情報提供を行い、避難計画策定を 促す。	【長期】 新潟の情報 ・ 提実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図	【短期】		学校における避難確保計画の作成 と避難訓練の推進等により、地域 防災力の向上を図る。	【長期】 引き続き 実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図	R2年4月		防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、学校における避難確保 計画の作成と避難訓練の推進等によ り、地域防災力の向上を図る。	【中期】 H30年度か ら実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図	【短期】維続中	
	学校における避難確保計画の作成と避難訓練 の推進	避難確保計画の第 定と避難訓練のま 施	(9)	・要配慮者利用施設に対し、避難確保計画の策定(施設情報の更新を含む)及び訓練め実施と市への訓練結果の報告を依頼(通知の実施)。・独自の避難確保計画様式である「施放の所災タイムライン」を作		0	・全ての対象施設で超離計画作成済み ・要配慮者利用施設に対し、必要な情報提供を行い、訓練実施を使す。また、適宜相談に応じる体制を整えることとしている。	R3年度作 成済み	_	対象となる学校の避難確保計画を作成、避難訓練を実施	引き続き 実施	0	学校の避難確保計画は対象となる全小中 学校で作成済み。避難訓練実施を推進。	引き続き実施	-	・ 浸水対象区域の学校施設はないが、過去の水害等を踏まえて、避難訓練の実施をお願いする。	継続	0	・教育委員会との連携による、「防 災キャラバン」と称した防災教育 を、市内9小中学校で実施。(昨年 度14小中学校)	引き続き実施		る。 教育委員会と連携を図り、浸水想 変定域内の小中学校に避難確保計 画の作成を依頼し、全校が提出済 みである。避難訓練についても継 続して実施している。	引き続き実施	0
	まるごとまちごとハザードマップの推進 (浸 水深表示)	まるごとまちごと ハザードマップの 支援	(a)	は 計画面域を包埋・支援 ハザードマップの見恵しの機会を 捉え機材(R3年度1実施したサイン表示整備の取組実験を踏まえて 検討) R3年度「実施した津液及水型変 区域を対象としたサイン表示整備 の取組実験を踏またしたサイン表示整備 の取組実験を誘張を口がサイン表示整備 の取組実験を誘張を口を対する。	実施	0	・避難所の見直し等に伴う変更を 実施 ・避難所の見直し等に伴う変更を実施	【長期】 引き施 【長期】 引き施		防災教育や防災知識の書及に関する取組として、地位住民と協働する取組として、地位民と協働する「まちなかに浸水リスクを美ドフラブ」推進により、地域防災力向とを図る。 最智恵別の赤水県大部定区域や浸水深に併せて引き続き実施		0				ク」を全戸配布する。 ・国県のハザードマップの改定に	R2年6月 継続	0	防災教育や防災知識の普及に関する方 取組として、地域化とは働る「非ながに没なった。 が地域化とは働る「非ながになる。 ながに没からない。 では、より、地域となって、 は、より、地域となって、 ・比29年度完成のハザードマップを 参考に検討。	H29ねんど から検討		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域上民と振動する も取組として、地域上民と振動する ドまることまり、地域防災力・ディー アン・ディット を図る。 ジネステン・デーアの小中学 技に試行的に設置(ド4)、18	【短期】 継続中 引き続き 実施	0
				一部地域で試験的に実施。 <u>R5年度から地域を選定して実施。</u> 関係機関と連携した防災行動計画 (タイムライン)の整備			・水防法の改正に伴う浸水想定区 域の見直しや、溶路では7年9月の関東・東北後で発露を発露するでは、 グを開催して検証を行い、必要な	【長期】 引き続き 実施		タイムラインの作成及び更新。	【短期】		タイムラインの活用により、豪雨 対応力向上を図る。	【長期】 引き続き 実施		合わせてその都度修正するため、 継続して検討していく。 振興局として連携して、タイムラ インを策定する。	R1年6月		関係機関と協議検証し、タイムラインの見直しを行うことにより、災害対応力向上を図る。	【長期】 引き続き 実施		か所設置 (R5) タイムラインについて、より実効 性の高いものとなるよう関係機関 と協議を行い、更新を図る。	【短期】維続中	-
	豪雨に対応したタイムラインの普及促進	新規・既存タイ <i>』</i> ラインの作成及ひ 更新	10	・信濃川、魚野川、刈谷田川、黒川を作成 (R4年度に信濃川・魚野川の各 観測所ごとにタイムラインの見直 しを実施) ・必要に応じて適宜見直しを実施		0	見直しや新たな課題の抽出を行っている。 ・ 起類に対する考え方や避難情報の出し方など、対応全体の在り方を改めて検討する。 る。	【長期】 H30年度実 施済、引 き続き検 討	_	危険箇所におけるタイムラインの作成及び 更新を引き続き実施	引き続き実施	0	・関係機関と連携した防災行動計画(タイム ライン)を整備した。今後連用しながら適宜 見直しを図る。	引き続き実施	_	・更新については、適宜、検証し 検討する。	継続	0	・必要に応じ、関係機関と協議検証し見直しを図る。	引き続き 実施	0	必要に応じ、関係機関と協議検証 し見直しを図る。	引き続き 実施	0
■要配慮者	5施設の避難に関する取組の推進			要配慮者利用施設について、地域 防災計画への位置付けの推進等に より、地域防災力向上を図る。	引き続き実施					要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 カ向上を図る。	【短期】		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 力向上を図る。	引き続き		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 力向上を図る。	R2年11月 予定		要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。	H29年度か	·	要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 力向上を図る。	令和元年度	
	地域防災計画への位置付けの推進	施設への指導、支援	100	浸水想定区域や土砂災害警戒区域 に所在する要配慮者利用施設の施 設情報を地域防災計画に登載	引き続き実施	0				浸水想定区域や土砂災害警戒区域に所在 する要配慮者利用施設を地域防災計画に 定めている。	引き続き実施	0	浸水想定区域や土砂災害器成区域に所在 する要配應者利用施設を地域防災計劃に 規載済み。避難確保計劃作成や避難訓練 を推進。	実施	_	対象なし		0	・地域防災計画修正の際に、見直しを実施。	引き続き 実施	- 0	平成31年度修正の地域筋災計画に 要配慮者施設を明記した。	令和元年度	0
				要配慮者利用施設における避難計 画の策定と訓練の実施を促進し、 避難の実効性の確保を図る。	引き続き実施		・要配慮者利用施設に対し必要な 情報提供を行い、避難計画策定を 促す。	【長期】 新潟県から情報 提供施から実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 線の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	【短期】		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 機の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	【長期】 引き続き 実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 繰の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	H28年度か ら検討		要配慮者利用施設の避難に関する取 組として、避難計画の作成と訓練の 推進等により、地域防災力の向上を 図る。	【短期】 H29年度か ら実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 線の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	【短期】維続中	
	避難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支援	100	要配慮者利用施設に対し、避難計画の策定(施設情報の更新を含む)及び訓練の実施と市への訓練結果の報告を依頼(通知の実施)・市独自の避難確保計画様式である。	引き続き実施	0	・全ての対象施設で避難計画作成済み ・要配慮者利用施設に対し、必要な情報提 使を行い、訓練実施を促す。また、適宜相 該に応じる体制を整えることとしている。	R3年度作 成済み	_	要配慮者利用施設に対し避難計画策定を 依頼し、訓練を実施	引き続き実施	0	・要配慮者施設における避難計画策定の 推進を行う。 ・対象施設の計画策定について依頼 ・確認を実施。	引き続き実施	_	対象なし		0	・福祉部局と連携し、避難計画策定と訓練実施の推進を図る。	引き続き 実施	0	福祉部局等と連携し、要配慮者利 用施設に対し、避難計画の作成と 訓練の推進等を行っている。	引き続き実施	0
				◆ 1 施成のが戻すイムフィン」を 作成1 計画の第字を保波・支達 要配慮者利用施設について、避難 計画の作成につながる講習会等を 実施する。	引き続き実施		SKINDON PRICE AND CECCUTORS			要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	【短期】					要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	R2年4月		要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につなが る講習会の開催等により、地域防災 カの向上を図る。	【短期】 H29年度から実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	【短期】維続中	
	避難確保計画の作成につながる講習会の開催	講習会の実施	100	要配慮者利用施設に対し、避難計 面の策定(施設情報の更新を含っ む)及び訓練の実施と訓練結果の 市への報告を依頼(通知の実施) 要配慮者利用施設の施設管理者等		0				来作成の要配慮者利用施設への説明を引き続き変施	引き続き実施	0				対象なし		0	・福祉部局と連携し、講習会開催を検討する。	引き続き 実施	0	関係する施設等に対し、説明会を 開催し実効性のある避難確保計画 の作成を促している。	引き続き実施	0
■災害の危		水位間知河川のギ																						
	小田周知州川の弘元、洪水浸水忠定と頃図の 作成促進等による浸水リスク情報の周知	定	9																					

凡例: 完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

「再	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済 を目指す取組	のものは赤字で記載する。 済被害の最小化」	長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			(長岡 i	川一魚	
項目 主な取組メ		対策メニュー 減災目標 達成のた めの取組	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
	31	浸水想定区域図の 像 作成									_												_
	水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の 作成促進等による浸水リスク情報の周知	ハザードマップ策 定	ボハサードマッフの策定・周知 ・怨定最大規模時雨に対応した、 新たなハザードマップを作成し、 全戸配布 版 (視覚障害者、外国 人) 洗水ハザードマップを作成 し、希望音や配布		0	・ハザードマップボータルサイト の周知と活用を促進 ・H50年度に作成、全戸配布済み。 ・ハザードマップボータルサイトの周知と活用を促進			☆風19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 引き続き実施	引き続き実施	0				金属19号を除まえた運動所等の見 値し等、新たなハザードマップの 検討 ・配年6月 浩水ハザードマップを 全戸配布する。・・・・国来のの・・・・・国来のでは党を予定しているた め、引き続き、検討していく。	継続		台風19号を踏まえた避難所等の見趣 し等、新たなハザードマップの検討 ・台風19号等過去の教訓を踏まえ、 開設する避難所の選集件の見趣し等により、対応力向上を 図っている。	ら実施 引き続き 実施	0	ザードマッフを作成 適去の浸水実績を図示したハザー ドマップを作成。これらにより浸 水リスク情報の周知を図ってい る。		0
	1	住民への周知 ⑧	最大線の災害を視野に入れ、市民 の遅軽行動につながる情報提供の あり方を検討し、周知・広報を実 施する。 ・想定最大規模降雨に対応した、 がな決水・ザードマップを作成 し、全戸配布	R2年度	0	- 三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する思議を高めていく 対する思議を高めていく - 三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する思議を高めていていく	【長期】		- 最大級の災害を視野に入れ、環 民の避難方能につながる機能と強 のあり方を検討し対策を譲じる適 市市が管理条託されている程度 し、市民の避難行動を使す。 ハザードマップを全戸配布	【短期】 引き続き 実施	. 0	根大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	리송結송	_	デジタル防災無線の整備が令和3年 3月に完了予定で全世帯に戸別を情 機を配備予念。 今後は、登制制メール、防災・予氏 の発験行動につながら情報提供を 実施。 ・配年9月デジタル防災行政機能の を備及び戸別受信機の全戸配布が 完了。		0	基大級の災害を接野に入れ、市民の 建設行動につかる情報提供のあり 力を検討し対策を講じる。 ・平時から、ハザードマップやマ イ・タイムライン等を用い、ご難型 動や情報収集手段等について書及想 を実施。	리호등호		基大級の災害を掲載に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 浸水想定公表に合わせて、ハザー ドマップに反映し、全戸配布によ り周知を図っている。	引き結束	_ 0
	1	浸水想定区域図の 像 作成	・コミュニティセンターに大利の 法木バザトドマップを掲出 ・解説動画をYouTuberで公開 ・要配書者を ・受配書者を ・受配書者を ・受配書者を ・グラップである。	R3年度 安放達力								・小中学校からの初次教育を推進						弗芒実施。		-			
	支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	ハザードマップ策 定			0	・ハザードマップボータルサイト の周知と活用を促進 ・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップボータルサイトの周知と活 用を促進	【長潟の供実 長潟の供実 長き施 見き施		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報を指の取組として、支川の な情報を指の取組として、支川の が表に、君直した密リ、地域住民 等へのリスク制を進むを図る 原係機関との連携により引き続き実施	【中期】 引き続き 実施	0				災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報を信の取組で、支川の な情報を信の取組で、支川のの作成・見風したログードマップ等 の作成・見風しを図り、地域住民 等へのリスク情報。加を図の 「小規模河川の氾濫推定図」の策 定を禁とともに進めていく。		0	災害の危険度が伝わるきめ細やかな 深高の危険度が伝わるきめ細やかな 高利した。 原・見重しを強引、地域住民等への リスク情報量を図る。 ・国や県から浸水想定区域図が公表 された際に検討する。	1	_	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報を指の歌組として、支切の な情報を指の歌組として、支切の作成・見直しを図り の作成・見直しを図りませば氏 等へのリスク情報周知を図る 中小河川のリスク情報周知につい でも果からの協力を得ながら引き 続き検討を行う。		- 0
		住民への周知 ⑧			0	- 多書語版バデードマップの作成及び開始 - 三条市泰雨災害対応ガイドブッ クを活用し、住民の水害や避難に 対する思議を高めていく	【長期】 引き続き 実施	_	・最大級の災害を視野に入れ、市 民の避難行動につながる(確認し のあり方を検討し対策を選集し ・市が管理機能など、各環 し、市民の避難行動を促す。 し、市民の避難行動を促す。		0				デジタル防災無線の整備が令和3年 3月に完了予定で、全世帯に戸別受 保険に、会世帯に戸別受 保険に、登録機の 大・戸別受価機などを使い、市民 の 支援機などを検い、市民 の 大・原列で 大・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリ		0	最大級の災害を視野に入れ、市民の 避難行動につながる情報提供のあり 力を検討し対策を講じる。			最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。	【短期】維続中	0
						- 三条市港県災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高め てしく	【長期】 引き続き 実施		ハザードマップを全戸配布	引き続き実施					・10年9月デジタル防災行政無線の 整備及び戸別受信機の全戸配布が 完了。	R3年9月完 了		平時から、ハザードマップやマ イ・タイムライン等を用い、遅難行動や情報収集手段等について普及啓 免を実施。	引き続き実施		源水型定域の公表に合わせ、ハ ザードマップ等を作成し、リスク 情報の周知を図る。	引き続き実施	
	土砂災害に関する避難情報の周知	土砂災害警戒区域 等の周知・更新 ―						_															
		土砂災害警戒情報 に関するシステム - の整備						_												_			
	農業用ため池の氾濫に着目したハザードマッ プ等を作成し、リスク情報を周知	ハザードマップ策 定	れる防災重点ため池(市内45箇所)について関係住民へのリスク 同知のため、ハザードマップを作成	R2年度 ~ R4年度 実施済み	-																気象状況の変化に応じて、腹林水 産者筋炎膜より遅むれるメール 「農業用ためたの事前点検索の地 で、の受性時に、ため地 の低水位質量の対応について検討 を実施 組続中	【短期】 R6~ 引き続き 実施	-
	早期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位 予測体制の鉄前	予測システムの精 ③ 度向上																					

R例: 完了しているものは青字、継続中のものは様字、未対応のものは赤字で記載する。 (長岡市~魚沼市)

	ているものは青字、継続中のものは緑字、未対応 5度災事防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会杯																					(長岡市	1~黒/	四中/
16	写度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	丼板音の取りに」		長岡市	1		三条市	1		小千谷市		I	見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目 主な取組 シ	メ 主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
	ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信 の強化	災害情報等の発信	_	・ホームページや登録制防災ノール、SNSなどを活用した情報発信 信 ・災害対策本部会議のライブ中継等、地元ケーブルテレビ商等、災害会のなる機能変法・配信に関する協定と解析を表示といる。 ・製造会知年、製造会知年、製造会知年、製造会知年、製造会知年、製造会知年、製造会知年、製造会知年、製造会知年、	実施済み引き続き		・メール配信サービス(登録制) やツイッターなどを活用した情報 発信を実施 ・メール配信サービス(登録制)やツイッター などを活用した情報免信を実施	【長納】 引実施 【長き続 ・ 【長き続 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				_												
	マスメディアとの連携強化	報道機関等への情 報提供及び連携	_	・ 実施 (毎月1回) ・ホームペーンを登録制防災ノー ・ 東京の起陳度が使わるきめ組合が で情報発信の起として、報道関係 ・ 実際子等・ では、 ・ 実際子等・ では、 ・ 実際子等・ では、 ・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実施済み							0	要害の危険度が伝わるきの細やかな情報発信の取組として、特益関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 - 新潟県総合防災情報システムの活用等による情報提供を実施。		_	次書の危険度が伝わるきの細やかな情報発信の放射として、特益関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 - 災害対策本部設置などの情報を 「リアラートンステム」を活用し、情報発信しながら引き続き、連携 を図っていく。	H25年度		災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組として、報送関係機 関と連携した情報発信の強化を図 る。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ お海県総合防災情報システム等を ・ 活連かつ的確な情報提供を 実施。			災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、輸送関係機関之連携した情報発信の取組として、輸送関係機関と連携した情報発信の強化 を図る。 新潟県総合助災情報システムの活用やコミュニティ[環局と連携による、迅速かつ的確な情報提供を実施。		0
	住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやす いきめ細やかな情 報伝達	(5)	を実施(毎月1回) ・ホームページや登録制防災メール、SNSなどを活用した情報発信 ・ヤフーとの協定によりアクセス 海中対策のためのカーヤッシュサイトを構築(R2を生産場所別メール・ボームペーンを登録制防災メール・ボームペーンを登録制防災メーターを発展した。	実施 引実 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・防災行政無疑のほか、様々な伝 選手段を用いて住民に情報を伝達 していく。 以下の手段で住民に情報を伝達していく。 ・慰定電話へ の変態法を記述時間を促サービス ・製金金製料のデジオ・ナール配替サービス	引き続き 実施 引き続き 実施					東層積壊者 記差型定区域等の危険 使の高い地域における「避難イン フルエンサー」の取り組み推進 ・住民の避難の決断を促すため、危険度の 高い地域で、災害時に避難を呼びかける 「避難インフルエンサー」を表表。		_				住民に対して増水した河川等危険政 場所に近づかないなど、間や周辺自 治体、報道機関等との協力体制を強 化し、速制に上板関係を にとて被害的止を関る。 ・ 防災行政無縁やメール等、様々な 手段を用い、迅速かつ的液な情報発 信を美能。		0	市民向け情報要価の発信を強化するため、ホームページのアクセセス 場中対策、情報をは、 ・ヤフーとの経過では、 ・・ヤフーとの経過では、 ・・マンーとの経過では、 ・・アンーとは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【短期】 継続中 引き続き	0
	水位計、空間整視カメラ等の整備によるリア ルタイム情報の発信	水位計、監視カメ ラ等の設置	(5)	信支集能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	引き続き実施		・ SNS など ・ 危機管理型水位計の設置 ・ 危機管理型水位計の設置 ・ 危機管理型水位計の設置 ・ 透水センサーの設置	H30年度5 ア予定 H30年度5 ア R6年度完 ア(引き	-													· 新手段の確保		
	浸水塑定区域における、企業、危険物管理施 設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理 施設へのリスク情 報の共有	_	災害の危険度が伝わるさめ細やかな毎晩発信の取録として、現大野 定成場における企業、危険物管理施設での浸水リスクへの情報提供 の立入検査の機会を捉えて、危険物流出防止対策を受す。		0		が		災害の危険度が伝わるきの層やかくな報告を借り取扱として、浸水管 定成域における・企業、危険等 変成域における・企業、危険等 関連股への浸水リスクへの情報提供 (供) (所) (所) (所) (所) (所) (所) (所) (所) (所) (所		0				要素の危険度が伝わるさの細やかな情報を集信の際報として、現大物 変反域における。企業、危険物管 理施設への浸水リスクへの情報提供 同年6月に淡水ハザードマップを全 戸配布するとともに、市中にも データを図っていく、浸水リスクの周 知を図っていく。			災害の危険者が振わるきか無やかな 情報発信の取職として、深水密受区 域における。企業、危険物管理施設 への浸水リスクへの情報提供 ・関係各議と連携し、情報提供を実 施。			災害の危険者が伝わるきか細やかな情報条件の取扱として 浸水物 定区域における。企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供 ハザードマップの浸水想定区域等についての情報提供を行っている。	【短期】 継続中 引き続き	0
4. グリーンイ ■グリーコ	インフラに関連する取組 ンインフラに関連する取組																							
	自然環境の保全・復元などの自然再生	レキ河原再生、水 際環境の創出、湖 潮の復元	_									_			-									
	治水対策における多自然川づくり	・選地環境の創ま ・選地環境(個) ・企業の ・企業の ・企業の ・企業を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・										-					far and				_			
	自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する 多様な機能活用の 取り組み	-													地域のニーズを指まえた緩わいのある水辺空間創出への連携。支 技。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	【短期】 【長期】 【長期】 『長期』 『長期』							
	魅力ある水辺空間・履わいの割出	水辺の賑わい空間 創出	_	「護滅地区かわまちづくり」において川東海県総領地路、(金化東 リマ川東東の関係総理部、(金化東、 東京の関係が開発しやする。 東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、	整備済整備済							-												
	生態系ネットワークの形成	大型水鳥のねぐら 大型水鳥のねぐら 特容類地域 大変質地域 大変の保 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を	_																					

R例: 完了しているものは青字、継続中のものは様字、未対応のものは赤字で記載する。 (長岡市~魚沼市)

	いるものは青子、植就中のものは椰子、木刈り																					(長岡り	m ~ 叫	/יווים/
「再	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会総 を目指す取組	E済被害の最小化」		長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目 主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト															
	流域における対策と合わせた自然再生等	・雨水貯留機能と 両立した森林復 旧・再生	-																					
	流域における対策と合わせた自然再生等	・水田の雨水貯留 機能確保・内向上な日 会の配置、 ・生育環境の形 成	_																					
	流域における対策と合わせた自然再生等	・砂防整備と合わせて憩いの場の割出・魚道整備等	-																					

	ているものは青字、継続中のものは縁字、 <mark>未対応</mark> 再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組		載する。	南魚沼市		津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信	濃川発電	Phi .	(南魚沼市~東京 東北電力(株) 長岡発電社			アブルパワー(株)信		
項目 主な取れ	メ 主な取組項目	対策メニュー	減災目標 達成のた めの取組	実施内容	緊急治水 時期 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
1. 被害の事	減に向けた治水対策の推進 (河川における対策) 設等の迅速な復旧																						
	環防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧		_											_						_			
■河川フ	位の低下及び洪水流下断面を向上させるための取	組																					
	遊水地等の洪水調節施設の整備	遊水地の整備	1											-			_			_			
		大河津分水路の3 修																					
	洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進	河道掘削樹木伎採	1																				
		築堤	1																				
■施設規	模を上回る洪水に対する取組																						
		堤防裏法尻の補 強・天端舗装	2																				
■既存制	接を活用した洪水被害軽減対策 場所の強化(浸透対策等)	堤防の強化	•																				
															・国土交通省等と治水協定を締結 し、ダム情報について情報共有を 行う。 ・治水協定取組み実施(事前放流 の実施)	【長期】 令和2年5 月協定締 結		国土交通省等との治水協定を締 結。	【長期】 令和2年5 月協定締 結	1	〇既存ダムの洪水調節機能の強化 に向けた取り組み・ ・ 治水協定取組み実施 (事前放流 の実施)	【長期】 令和2年5 月協定締 結	
	既存の排水機場、ダム、爆などの河川管理施設について、更なら洗水被害軽減の可能性に 着いて検討を行うとともに、必要な対策を実	既存ダムの事前が 流を伴う治水協力	29											-	・協定の取り組みを継続実施。	引き続き実施	_	黒又ダムおよび薮神ダムについて 協定に基づいた事前放流を行う。	引き続き実施		・西大滝ダム、渋沢ダム、穴藤ダム、カッサ川ダムについて上記取り組みに同意。施策を継続する。	引き続き実施	_
		既存の堰等の洪水 時における操作改 定																					
■河道	河川管理施設等の適切な維持管理																						
	堤防や堰、水門等の適切な維持管理		-											-									

凡例:完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対<mark>応のものは赤字</mark>で記載する。

(南魚沼市〜東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所)

		いるものは青字、継続中のものは緑字、未対応 度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組			南魚沼市		津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信濃	川発電剤	fi	東北電力(株) 長岡発電			アフルバワー(株)信		
		を目指す取組			11270010					700000			22.1			M-1 M-2 M-2 (N/) III.	,			1			CPI-7 III III.CF	T
項目主	な取組メ ニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標 達成のた めの取組	実施内容	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
		河道内の堆積土砂の撤去、樹木の植生管理		_								_			_									
2. 地	が連携し	した漫水被害軽減対策の推進(流域における対 出抑制の取組	策)																					
	C ML O J ML		公園、校庭等の雨 水貯留施設の整備	-																				
			田んぽダムの推進	-			農地の多面的機能として位置づけられている田んぼに、一時的に貯 られている田んぼに、一時的に貯 育する機能を活用するため、田ん ほダムの呼びかけを検討する。						農地の多面的機能として位置づけ られている田んぼに、一時的に貯 する機能を活用するため、田ん ぼく人の呼びかけを検討する。		0									
		雨水貯留施設、田んぼダム、透水性舗装の整 備等					・有効な協力の呼びかけ方法、関 知も含め実施を検討する ・田んぽダムの活用(町内105haで 実施)	引き続き検討					- 有効な協力の呼びかけ方法、周 知も含々実施を検討する ロムにピンムの活用(特内38.6ha で美施)	引き続き										
			浸透性舗装、側 溝、ますの設置	-								_			_						_			
			各戸貯留施設の費 用補助	_																				
-	を川氾濫!	抑制、内水被害を軽減する取組																						
			河道擺削	1																				
		支川水路における氾濫抑制対策	雨水渠の流下能力 増強																					
			排水機場の整備、 増設	29																				
			- widh																					
		排水機場の整備	放流先の見直し	39																				
			排水ポンプ車等の 整備	29																				

凡例: 完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

(南魚沼市~東京電力リニュー)	アブルパワー(株)信濃川事業所)

「再	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」		南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信	濃川発電所	fi	東北電力(株)長岡発電技			東京電力リニューアブルパワー		
項目 主な取組メ		対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施內容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
	排水機場の耐水化の推進	排水機場の耐水化	29															_						
■大規模災	書時における迅速な復旧支援の取組																							
	緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備	河川防災ステー ション等の整備	89																					
		大規模水害時において大規模水害時において大型車両等が 通行可能なアクセ ス網の整備				_						_			_			_			_			
■土砂災害	Fに対する対策																							
	土砂・洪水氾濫への対策	土砂 水沢 記を ・ 洪火 記を ・ 洪火 する たいま ・ は が 高い かい できる に なき できる に なきる に なる に な に なる に な																_			_			
	流木や土砂の影響への対策	多数の家屋や砂の家屋や砂の家屋や砂の家屋のおこにするため、おいまではいまではいまるのではいまではいます。				_			_			_						-			_			
■森林整備	情等における対策																							
	上流域における森林整備・保全等	治山対策、森林整 備等																						
	保安林の適正な配備等	保安林の維持・管理及び保全	_												_						_			
3. 減災に向け ■仕まいた	た更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策 5の工夫に関する取り組み)																						
	「まちづくり」による水害に強い地域への誘導	都市計画マスター ブランや立との通正 が計画に が計画に が が が が で が で が で が で が で が で が で が で	-												_			_						
	党書型住まい (高床式) 費用の助成活用の充 実	都市計画マスター ブランや立地適正 化計画による水害 に強い地域へ誘導																						
	不動産関係団体への水害リスク情報と周知協力の推進	不動産関係者への 水害リスク情報の 提供		住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リス 債権の提供と周知協力の推進を 図る。 水害リスクに対してハザードマッ フの情報提供を行っている			住まい方の工夫に関する取組とし 大師を関係の水舎リス が開発し で、情報の提供と 周知協力の推進を 図る。 引き続き実施	【短期】 引き続き 実施		住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リス の情報の提供と周知協力の推進を 図る。 マップの提供やホームページでの情報提供 を実施	引き続き実施		住まい方の工夫に関する取組として、不動走関係団体への水害リス 「情報の提供と周知協力の推進を 図る。 引き続き実施	【短期】 引き続き 実施	0									

凡例:完了しているものは青字、継続中のものは様字、末対応のものは素字で記載する。

																			(南魚沼市~東京電力	, , –	/	ファ・フ (Iホ/ Iロ #	K1.1 7- 4	
	「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」		南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信温	則発電所		東北電力(株)長岡発電技術セ	ンター		東京電カリニューアブルパワー	(株)信濃川事	其所
項目 主な取ニュ	_	対策メニュー 達成	災目標 成のた の取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急対策	治水 ブロ 実施内容 クト	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	宇期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	紧急治水 対策プロ ジェクト
■防災	教育や防災知識の普及に関する取組		D.	防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図	【短期】 継続中		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図	【短期】					防災教育や防災知識の普及に関す る取組に合わせて過去の弥彦村の 水害を紹介し、地域防災力の向上	【短期】										
	水害の記憶の伝来	パネル展、イベン ト、水害リスク情 報の周知やSNS等 を活用した発信	(29) 広朝 行 国 研	ある。 本報誌等に過去の災害の記事を掲載し、水害リスク等の情報提供を 可上地理院と協力して、災害伝承 弾の調査を行い、広報誌等で周知 している。			等より、地域的火力の向上を図る。 本南中学校でマイタイムライン作成支援授業の実施。	引き続き実施	0				不置を知り、 地域的メガル向上 を図る。 広報誌等に過去の災害の記事を掲載し、水害リスク等の情報提供を 行っている。 防災講話、防災処害等で過去の水 防災調修で過去な小害に関するパ 本元を実施。		<u></u> ⊕									
			けるマラ防	防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民と協働で では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	【短期】 継続中		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民と協働で マイ・防災マッガ、マイ・タイム ライン普及の推進等により、地域 防災力の向上を図る。	【短期】					・マイ・タイムライン策定済み ・セラ・10 要配慮者利用施設に、 ハザードマップの配布(1~10部) を実施。	【短期】										
	マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及 の推進	マイ・防災マッ ブ、マイ・タイム ライン普及の支援	位 じイナ 力	住民の防災教育で地域の必要に応 だいザードマップを使ったマイタ 4人ラインの称う、支援の作成協 力の広報を行っている。	引き続き実施	0	津南中学校でマイタイムライン作 成支援授業の実施。	引き続き実施	0				関係機関と連携した防災行動計画 タイカイン)の整備 タイカイン)の整備 交易運動化を削まえて、見直し を行っている。 防災到線でマイ・タイムラインの 作成支援を実施。	引き続き実施	0									
			小音	防災教育や防災知識の普及に関す る敬組女性を連携した。 を会・子女性を連携した。 が成場を連携である。 が成場である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	【短期】維続中		防災教育や防災知識の普及に関する。 高変組を大きる。 を表して、連接の教物域、防災教育という。 を持たない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	【短期】		防災教育や防災知識の普及に関す を取職として、地域、 を持続した、地域、 では、地域、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では			防災教育や防災知識の普及に関する取組として、通常の場合として、通常の要は受ける場合、地域は防災の・学校等と得ら、地域は防災力の推進等により、地域防災力の上を図る。	【短期】										
	地域住民や小中学生等を対象にした筋災教育 の推進	出前講座による防 災教育の実施	市民	市内小学校での防災教育のほか、 民間防災団体と協動して地域住民 付象とした防災講座を開催し、地 域防災力の向上を図っている。	引き続き 実施	0	津南中学校でマイタイムライン作成支援授業の実施。	引き続き実施	0	小・中学校等と引き続き実施	引き続き実施	-	・地域住民への防災教育		0									
		7114 74 (74) 77 4 (7	防る研等る	防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。	【短期】 継続中		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。	【短期】					防災教育や防災知識の普及に関す 高取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。											
	学校における避難確保計画の作成と避難訓練 の推進	経種体体が側の東定と避難訓練の実施	雅 を R4 に 保	教育委員会を通じて学校における 経難確保計画の作成と避難訓練の 推進等により、地域防災力の回 を図っている。 科動たに公表された浸水想定と は合まれる学校についただいた。			浸水想定区域内要配慮者施設の洪 水避難訓練への参加、協力	実施	0				教育委員会を通じて学校における 遅續確保計画の作成と遅難訓練の 推進等により、地域防災力の向上 を図っている。 小学校避難條保計画策定											
	まるごとまちごとハザードマップの推進(没 水深養示)	まるごとまちごと ハザードマップの 支援	る 地 (3D) R4 R5 L	防災教育や防災知識の普及に関する敬頼化として、「まる生とまちごとハザードマ・ア・ア・関連とより、 とハザードマ・ア・ア・関連をはいる。 44年柱構設設置に向けて調査研究 が社会資本整備総合安付金を活用 し、洪水浸水深電柱構識を設置 が高沢浸水深電柱構識を設置			防災教育や防災知識の普及に関係の 取組をして、水リスとは要素である。 は、大きないに浸水リスとのである。 では、水リスというでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	引き続き検討	0			_	防災教育や防災地間の普及に関する取組として、「まるととまちごとおちごとれて、「まるとまちごとれずードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。 沈久夕を表示する「まるごとまちごとが「ドマップ」等の書 ないで、引き続き検討する。											
		新規・既存タイム	最災け	(継続) 最新の魚野川のタイムラインを防 災塵談会などで活用し普及につな ずる。			県十日町地域振興局と作成した前線性出水を対象とした信濃川沿川のタイムラインを活用する。			関係機関と連携しタイムラインの作成及び更新を実施する。			関係機関と連携しタイムラインの 更新及び住民への普及を実施す る。											
	豪雨に対応したタイムラインの普及促進	ラインの作成及び 更新	印 最次で	最新の魚野川のタイムラインを防 災塵談会などで活用し普及を図っ ている。	引き続き 実施	0	引き続き実施	引き続き 実施	0	タイムラインの作成及び更新を引き続き実施する。	引き続き 実施		 経年変化等を反映してタイムラインを適時 更新するとともに、住民への普及を実施する。 	引き続き実施	ė O									
■要配	虚者施設の避難に関する取組の推進		取置	要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 性内に対策を持ち、地域防災	【短期】 継続中		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 力向上を図る。	【短期】					要配慮者利用施設の避難に関する取相と して、地域防災計画への位置付けの推進 等により、地域防災力向上を図る。	【短期】										
	地域防災計画への位置付けの推進	施設への指導、支援	10 R4	カ向上を図る。 24地域防災計画の見直しに伴い、 要配慮者利用施設の位置づけを更 新し地域防災力の向上を図った。	引き続き実施		R1年地域防災計画改定時に要配慮 者利用施設を位置付け		0				地域防災計画の見直しに伴い、要 配慮者利用施設の位置づけを更新 し地域防災力の向上を図ってい る。	引き続き実施	<u>*</u>									
	避難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支 標		要配慮者利用施設の避難に関する 数組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の 向上を図る。 振温圏と風彩全際災訓練を単端する			要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 線の推進等により、地域防災力の 向上を図る。 浸水想定区域内要配慮者施設の洪		0				要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 練の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	司李總章										
		its.	đ fi	所潟県と県総合防災訓練を共催す る中で、個別避難計画の策定を 行った。 要配慮者利用施設の避難に関する	[45 HB]		水超難訓練への参加、協力 要配慮者利用施設の群難に関する	実施					て、	【短期】										
	避難確保計画の作成につながる講習会の開催	講習会の実施	_ 19	取組として、避難計画の作成につ なかる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。 福祉部局と連携し、必要に応じ避 機能部局と連携し、必要に応じ避 機能が高くでは、 である。 である。 である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		_	取組として、避難計画の作成につ ながる講客の関催等により、地 域防災力の向上を図る。 浸水想定区域内要配慮者施設職員 の水防災字習研修への参加、協力	引き続き実施	- 0				取組として、延替計画の作成につ ながる議論をの開催等により、地 域防災力の向上を図る。 福祉課部局と連携し、必要に応じ 延續計画の作成に講書等の組力を 行う。		<u>*</u>									
■災害	の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組		_																					
	水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の 作成促進等による浸水リスク情報の周知	水位周知河川の設 定	9			_																		

凡例:完了しているものは青字、継続中のものは様字、末対応のものは赤字で記載する。

	いるものは青字、継続中のものは緑字、 <mark>未対応</mark> 度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組		載する。	南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信	濃川発電所	i	(南魚沼市~東京 東北電力(株) 長岡発電打			アブルパワー(株)信		
項目 主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	軍施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
		浸水想定区域図の 作成	8																					
	水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の 作成促進等による浸水リスク情報の周知	ハザードマップ策 定		台画19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 場管理河川のL2都定の浸水想定 公表に合わせ、市ホームペーンの ハザードマップに反映している。 取日L2都定のハザードマップ保 類の作成光了、60全戸配布予定。 60全戸配布予定。			台風19号を設まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 引き続き検討	【短期】 令和2年11 月以降		台風19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 型交員大規模開門に対応したハザードマップを作成済み			台風19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなパザードマップの 検討 ・ハザードマップを演定 ・ハザードマップを実新	【短期】 H29.3月完成 R4.8月完成	0									
		住民への周知		最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。	【短期】 継続中		最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 引き続き検討	【短期】 引き続き 検討	. 0	最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながら情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 マップの提供やホームページでの情報提供 を実施			ハザードマップ周知 ハザードマップボータルサイトの 周知と活用を促進 マップの現界やホームページでの情報提供 を実施	【短期】 引き続き 実施	. 0									
		漫水想定区域図の 作成		MILE Z並及のパゲートマック様子 版の作成元で、配金戸配布予定。 応金戸配布光で																				
	支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	ハザードマップ策 定		災害の危険度が伝わると、支地のの を持ち、大きなのでは、大きなのでは、 な情報を表情の影像と変更がある。 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			災害の危険度が伝わるきめ緩やかな情報発信の取機として、支川の な情報発信の取機として、支川の 氾濫に着目したバザードマップ等 等へのリスク情報通知を図る。 中小河川の浸水想定区域の企業に 伴い、バザードマップ等を作成す る。		0	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取扱として、支川の 犯監に着目したハザードマップ等 の作成・見出とを関リ、地域に 等へのリスク情報差知を図る。 小規模用川の氾濫支援の企表がされた 5、ハザードマップを作成する。	1		災害の危険度が伝わるきあ細やかな情報発信の取録として、実川の 可能発信値の取録として、実川の 氾濫に番目したハザードマップ等 の作成・見むと図り、地域住民 等へのリスク情報通知を図る。 にあるの正真常図を記述のバザードマップに最ん合かは丁斯に作成し、課任地区 に全手配布した。		- 0									
		住民への周知	8	最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。	【短期】 継続中	0	表大級の災害を複野に入れ、市臣 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 ハザードマップ等の作成が完了し 次第、住民への配布が成が完了し ページ等での周知を実施する。		0	■ 大協の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 小様様のは対策を講じる。 小様様のは、対策を講じる。 小様様のは、対策を構造した。 小様様のは、対策を必要を対すーが、 ページ等での情報提供を実施する。		_	最大線の災害を視野に入れ、住民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 小様様河川、特に矢川及び御客部川の江 返策定節の・サードマンプが作成攻系、住 民への配布及びホームページ等では		. 0									
		土砂災害警戒区域 等の周知・更新	_	が最に合わせ、市本一人スページの パザードマップに反映している。 パサードマップ原子 酸の作成売了、RD全戸配布予定。 RD全戸配布完了、RD全戸配布予定。	7.0		ベルジ等での簡短を実施する。			ベージ等での情報提供を実施する。			民への配を急びホームページ等での情報 提供を実施する。	38.07										
	土砂災害に関する避難情報の周知	土砂災害警戒情報 に関するシステム の登備	_			_																		
	農業用ため池の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を商知	ハザードマップ策 定											ため走(村内2箇所)について関 保住民へのリスク周知のため、ハ ヴードマップを作成 R3年度に完成	令和3年度 中に完成 令和3年度 に完成										
	早期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位 予測体制の検討	予測システムの精 度向上	9			-																		

凡例:完了しているものは青学、継続中のものは様学、未対応のものは赤字で記載する。

凡例:		へるものは青字、継続中のものは緑字、未 <mark>対応</mark> 『災事時止・軽減』「冰げ遅れゼロ」「社会経		+0.74			***			977			7.01			東日本旅客鉄道(株)信	****					アブルパワー(株)信濃		
	17.0	『災害防止・軽減』「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組		南魚沼市			津南町		Τ	湯沢町			弥彦村		Τ	東日本旅各鉄道(株)信			東北電力(株)長岡発電技			東京電カリニューアブルパワー(杉		
項目主	な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー 減災目標 達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	野急 対策 ジェ	治水 ŧプロ ٤クト
		ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信 の強化	災害情報等の発信 一																					
	-	マスメディアとの連携強化	和労強刑等。の終	災害の危険度が伝わるきめ細やか な情報発信の取組として、報道院 後機関と連携した情報発信の強化 を図る。 地元エフエム局をはじめ報道機関 等に対し積極的に、定例及び随時			災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化 を図る。 引き続き検討	【短期】		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と達携した情報発信の強化を図る。 新潟県総合防災情報システムの活用や地 元エフエム局と連携し、情報提供を行う。	引き続き		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 地元エフエム局をはじめ報道機関		0									
	-			等に対し積極的に、定例及び随時 の情報提供を行っている。	実施			検討		元エフェム局と連携し、情報提供を行う。	実施		地元エフエム局をはじめ報道機関等に対し積極的に、定例及び随時の情報提供を行っている。 BSNと防災バートナーシップに関する協定を締結 ・防災行政無線のほか、様々な伝達手段を用いて住民に情報を伝達									○関係自治体との連絡体制整備 20	021. 2~	
		住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやす いきめ細やかな情 報伝達			-							以下の手段で仕座に情報を伝達していく。									○関係自治体との連絡体制整備 ・ 法大等の版、関係自治体との円 の場合が保護状態を ・ 技術をの限、関係自治体との時 連絡体体的の確認等、 窓見交換を ・ 関係自治体と窓見交換をさせて 可度き、緊急時等の円滑な情報共有 実施。	川き続き -	_
	-												- 防災行政無線 ・ 村ホームページ ・ ヤフー防災連報 ・ 緊急告知FMラジオ ・ ナール配信サービス ・ SNS など	***								はさ、素意の守む口が4所収パイ 体制の整備を実施。	://5	
	:	水位計、空間整視カメラ等の整備によるリア ルタイム情報の発信	水位計、監視カメ ラ等の設置									_			_			_						
	=			災害の危険度が伝わるきめ細やか な情報発信の取組として、浸水想 定区域における、企業、危険物管 理施設への浸水リスクへの情報提 供	【短期】維続中		災害の危険度が伝わるきめ細やか 佐藤発信の取組として、浸水想 定区域における、企業、危険物管 理施設への浸水リスクへの情報提 供	【短期】					災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想理能は計る。企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供	【短期】										
	i	浸水想定区域における、企業、危険物管理施 設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理 施設へのリスク情 ― 報の共有	企業からのサブライチェーン関係 の問い合わせについて適切に情報 提供を行っている。	引き続き実施	0	引き続き検討	引き続き検討	0			_	ハザードマップの浸水想定区域等 についての情報提供を行ってい る。	引き続き実施	0			_						
		・フラに関連する取組																						
	グリーンィ	(ンフラに関連する取組																						
		自然環境の保全・復元などの自然再生	レキ河原再生、水 際環境の創出、瀬 瀬の復元									_			-			_						
	:		・湿地環境の創出 ・温地環境の創出 ・温速機のに ・温速機の上 ・温速機の上 ・温速機体の生 ・急環境を ・最速域の ・急 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・																					
				小学校の河る会を ・ 一学校の河る会を ・ 一学校の河る会を ・ 一学校の河のを ・ 一学では ・ 一学では ・ 一学では ・ 一学では ・ 一学では ・ 一学では ・ 一学では ・ 一学で ・ 一学 ・ 一学で ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	【中期】 【長期】											・東の東水ダムを通用車上に収益計算等 東の東水ダムを通用車が大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	【中期】 【長期】							
		自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する 多様な機能活用の - 取り組み	小学校の河川環境学習において、 地域にある色野川につかがる川の	引き続き											アルルス は、	引き続き							
				小学校の河漁選別に、「、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、													A.60							
		魅力ある水辺空間・賑わいの創出	水辺の賑わい空間 創出 –	ふれあい魚野川プロジェクト:六日町地区の魚野川プロジェクト:六日町地区の金サングロード、桜並木を整備し、毎年イベントを開催して水辺の脈わい空間創出を図る。																				
				六日町地区の魚野川において、駐車場やウォーキングロード、桜並 木を整備し、毎年イベントを開催 して水辺の賑わい空間創出を図っ ている。	実施																			
	:	生態系ネットワークの形成	大型水島のねぐら 大理領場となる浅 場や湿地環境の保 全・創出															_						

凡例: 完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

(南魚沼市~東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所)

	TO CONTRACT OF THE PARTY OF THE																	(田本山中" 未永	E/1/7		ノンルハラー(杯)音	灰川子	不けり
Га	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会総 を目指す取組	経済被害の最小化」	南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)(農川発電	ή .	東北電力(株)長岡発電技	支術センター	_	東京電カリニューアブルパワー	- (株) 信濃リ	事業所
項目 主な取組 ニュー	生な取組項目	対策メニュー 減災目標 達成の取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト									
	流域における対策と合わせた自然再生等	・雨水貯留機能と 雨立した森林復 旧・再生																					
	流域における対策と合わせた自然再生等	・水田の雨水貯留 機能の雨の上と田 場にはたりませた。 場には、 の間の最大では、 の間の は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、																					_
	流域における対策と合わせた自然再生等	・砂筋整備と合わせて憩いの場の調 ― 出・魚道整備等																					